

# 山村振興基本方針



岐 阜 県

令和8年3月

# 目 次

## 前 文

1 基本方針策定の趣旨.....	1
2 基本方針の性格.....	1

## 第1 地域の概況

1 地理.....	3
2 地勢.....	4
3 気象条件.....	4
4 産業構造等.....	5
ア 人口の動向.....	5
イ 財政事情.....	5
ウ 交通の状況.....	5
エ デジタルインフラの整備状況.....	5
オ 土地利用.....	6
カ 産業構造及び生産活動.....	6
キ 近年の主な自然災害の発生状況.....	7
ク 医療の状況.....	7
ケ 社会福祉の状況.....	7
コ 教育の状況.....	8
サ 社会・生活環境の状況.....	8
シ 移住・交流の状況.....	8
ス 労働力（所得の状況を含む）.....	8
セ 自然環境や景観の保全状況.....	9

## 第2 山村振興対策の成果と今後の課題

1 山村振興対策の成果.....	10
（1）第一期山村振興対策.....	10
（2）第二期山村振興対策.....	10
（3）第三期山村振興対策.....	10
（4）第四期山村振興対策.....	10
（5）第五期山村振興対策.....	11
（6）第六期山村振興対策.....	11
（7）第七期山村振興対策.....	11
2 今後の山村振興対策の課題.....	12
（1）交通について.....	12
（2）デジタルインフラの整備.....	12
（3）産業基盤整備について.....	12

(4) 産業の振興.....	12
(5) 防災について.....	13
(6) 医療について.....	13
(7) 社会福祉について.....	14
(8) 文化や教育について.....	14
(9) 社会・生活環境について.....	14
(10) 都市山村交流、U I J ターンの推進（移住・交流について）.....	15
(11) 担い手の確保.....	15
(12) 森林、農用地の適切な管理（自然環境の保全及び再生について）.....	15
(13) 自立した地域社会づくり.....	16
<b>第3 振興の基本方針及び振興施策.....</b>	<b>17</b>
○ <b>振興山村の振興の意義及び方向に関する事項</b>	
(1) 本県の特性.....	17
(2) 国土強靱化等の視点.....	17
(3) 県民協働による振興.....	18
① <b>交通施策に関する基本的事項.....</b>	<b>19</b>
② <b>情報通信施策に関する基本的事項.....</b>	<b>19</b>
③ <b>産業基盤施策に関する基本的事項.....</b>	<b>19</b>
④ <b>産業振興施策に関する基本的事項.....</b>	<b>20</b>
(1) 農業振興.....	20
(2) 林業振興.....	21
(3) 水産業振興.....	21
⑤ <b>防災に係る施策に関する基本的事項.....</b>	<b>22</b>
⑥ <b>医療の確保に係る施策に関する基本的事項.....</b>	<b>23</b>
⑦ <b>社会福祉施策（子育て環境の確保に関する施策を含む。）</b> <b>に関する基本的事項.....</b>	<b>23</b>
⑧ <b>文教施策に関する基本的事項.....</b>	<b>24</b>
(1) 教育、学習環境の充実.....	24
(2) 文化の振興.....	25
⑨ <b>社会、生活環境施策（集落整備施策含む。）に関する基本的事項.....</b>	<b>25</b>
⑩ <b>移住・交流施策に関する基本的事項.....</b>	<b>26</b>
⑪ <b>担い手施策（労働条件の改善に関する施策を含む。）</b> <b>に関する基本的な事項.....</b>	<b>26</b>
⑫ <b>自然環境の保全及び再生に係る施策に関する基本的事項.....</b>	<b>27</b>
⑬ <b>その他施策.....</b>	<b>27</b>
<b>第4 他の地域振興等に関する計画、施策等との関連.....</b>	<b>28</b>
<b>参考資料</b>	

# 前 文

## 1 基本方針策定の趣旨

本県の振興山村\*<sup>1</sup>の振興については、山村振興法（昭和40年5月11日法律第64号。以下「法」という。）制定以来、第一期対策（昭和40～47年）、第二期対策（昭和47～54年）、第三期対策（昭和54～平成2年）、第四期対策（平成3～10年）、第五期対策（平成11～16年）、第六期対策（平成17年～27年）及び第七期対策（平成28年～令和7年）により、交通、通信、産業基盤、生活環境基盤、国土保全等各般の対策を総合的かつ計画的に実施してきたところである。

その結果、振興山村においては産業基盤や生活環境の整備が進んでおり、山村振興対策は着実にその成果を挙げてきている。

しかしながら、振興山村においては、なお他地域との格差が存在しており、特に生活排水処理施設、医療、教育関連施設等の分野において顕著であることに加え、若年層を中心とする人口の流出と高齢化が依然として進行しており、振興山村の活力低下とともに、担い手不足により国土・自然環境の保全等山村が担っている重要な役割の発揮が危惧される状況となっている。

さらに、少子・高齢化や技術革新をはじめとする時代の大きくかつ速い転換期を迎える中、振興山村が恵まれた自然、それぞれの山村固有の歴史、文化、伝統、ゆとりある居住環境などの特性を活かし、自ら考え、自ら実行する「地域の自立」により、各種振興施策に取り組んでいくことが求められている。

## 2 基本方針の性格

山村振興基本方針（以下「基本方針」という。）は、県内16市町村の振興山村を対象に、今後おおむね10年間を目標とする基本的方向を明らかにしたものであり、各振興山村の山村振興計画策定に係る施策推進に当たっての方針を示したものである。

ここに盛り込まれた施策の内容については、今後の振興山村の実情の変化に応じて弾力的に運用されるべきものである。

なお、この方針で引用しているデータについては、旧市町村単位での集計がなされなくなった統計資料があるなどの事情により振興山村地域のみを抽出したデータの収集が困難になった項目があることから、一部のデータについては、山村振興地域を有する市町村（以下、振興山村市町村）を単位としている場合がある。

県内の振興山村市町村\*2 は、県内 42 市町村のうち以下の 16 市町村（うち一部山村 14 市町）である。（令和 7 年 4 月 1 日現在）

- ア 岐阜圏域：＜山県市の一部、本巣市の一部＞
- イ 西濃圏域：＜大垣市の一部、関ヶ原町の一部、揖斐川町の一部＞
- ウ 中濃圏域：＜関市の一部、郡上市の一部、七宗町の一部、八百津町の一部、白川町、東白川村＞
- エ 東濃圏域：＜中津川市の一部、恵那市の一部＞
- オ 飛騨圏域：＜高山市の一部、飛騨市の一部、下呂市の一部＞

---

\*1 振興山村：山村振興法における山村の定義。林野率、人口密度等により昭和 25 年 2 月 1 日現在の市町村の枠組みでエリア指定されている。

\*2 振興山村の記述については、原則次のように表現し区別した。

振興山村           ： 「振興山村のエリア」について指す。

振興山村市町村   ： 「振興山村を含む市町村全体」について指す。

# 第1 地域の概況

## 1 地理

当県において法に基づき指定されている振興山村は、16市町村（うち一部山村が14市町、昭和25年2月1日における区域で95市町村）であり、その令和2年の人口は、146,576人、面積で712,232haとなっており、これは県人口の7.4%、県面積の67.1%に当たる。

本県の振興山村は、豪雪地帯、過疎地域など他の地域指定を受けているところが多く、都市部との地域間格差に加えて、さらに多くの不利的条件を併せ持っている。

また、地理的には県南部の平野部を除く県土の大半が振興山村であり、県内の5圏域全てに振興山村が含まれている。各圏域の特徴は、次のとおりである。

### (1) 岐阜圏域：＜山県市の一部、本巣市の一部＞

圏域の中心を長良川が流れる、県都岐阜市を中心とした、本県の政治、経済、文化等の中核的機能を持つ地域である。

圏域内9市町のうち北部2市が振興山村市町村であり、振興山村の人口は圏域人口の0.7%、振興山村の面積は圏域面積の47.9%を占めている。

### (2) 西濃圏域：＜大垣市の一部、関ヶ原町の一部、揖斐川町の一部＞

長良川、揖斐川等多くの一級河川が流れ、古くから水と関係が深い地域で大垣市を中核とした地域である。

圏域内11市町のうち北部及び西部の3市町が振興山村市町村であり、振興山村の人口は圏域人口の2.5%、振興山村の面積は圏域面積の39.1%を占めている。

### (3) 中濃圏域：＜関市の一部、郡上市の一部、七宗町の一部、八百津町の一部、白川町、東白川村＞

圏域北部の豊かな自然や冬期の積雪、伝統文化などを活用した交流産業、南部の関の刃物、美濃和紙などの伝統産業などが特徴的な地域である。

圏域内13市町村のうち北部及び東部の6市町村が振興山村市町村であり、振興山村の人口は圏域人口の13.8%、振興山村の面積は圏域面積の75.1%を占めている。

(4)東濃圏域：＜中津川市の一部、恵那市の一部＞

木曾川、付知川及び矢作川を中心に開け、国道19号・257号、JR中央線を基幹交通体系とした地域で、名古屋市に近いことからその影響を多く受けている。圏域内5市のうち東部の2市が振興山村市町村であり、振興山村の人口は圏域人口の9.1%、振興山村の面積は圏域面積の50.1%を占めている。

(5)飛騨圏域：＜高山市の一部、飛騨市の一部、下呂市の一部＞

県土の北部地域に位置し県下振興山村面積の約4割を占める広大な地域であり、そのほとんどが山林で、その振興山村の全てが豪雪あるいは特別豪雪地帯の指定を受けている。

また、飛騨川と宮川が流れ、これに沿って国道41号及びJR高山線が走っており、地域固有の歴史、優れた自然景観を活かした文化・産業並びに観光施設が多く存する。圏域内4市村のうち白川村を除く3市が振興山村市町村であり、振興山村の人口は圏域人口の37.5%、振興山村の面積は圏域面積の82.8%を占めている。

## 2 地 勢

本県は、国土のほぼ中央に位置し、全国でも数少ない海を持たない内陸県である。県北部の飛騨圏域には、標高3,000m以上の中部山岳、飛騨裏木曾連峰及び白山連峰が連なる急峻な山岳地帯があり、また、南部の西濃圏域には海拔0mの濃尾平野の水郷地帯と変化に富んだ形を有し、これを縫って木曾、長良、揖斐の三大河川と、そこに連なる多数の河川が流れている。

県下振興山村は、南部の濃尾平野を除く山岳地帯のほぼ全域に及んでおり、多くの自然公園指定区域となるなど、豊かな自然資源に恵まれている。

## 3 気象条件

県下振興山村の気象条件は、地形と同様に多様性に富んでおり、県南部の温暖な気候に対し、北部の飛騨圏域では寒冷的な気候で積雪も多くなっている。

## 4 産業構造等

### 社会及び経済に係る状況

県下振興山村の道路整備は年々進んでおり、通勤圏や生活圏域の拡大をもたらしているが、道路の改良や舗装の状況は、一部を除いて依然としてその他の地域と格差がある。

さらに、県下振興山村における医療体制は、量的、質的な面において水準が低い地域が依然として多く、住民の福祉、健康の維持増進の上で多くの課題を残している。

### ア 人口の動向

県下振興山村の人口は、昭和40年からの45年間で256千人が147千人と42.6%減少し、県全体に占める割合も7.4%と1割を切っている。

人口の年齢構成については、65歳以上の高齢者が41.2%を占め、県全体の30.4%を大きく上回っており高齢化の進行が著しい。また、0歳から14歳の年少人口は10.6%と、県全体の12.3%より低く、少子化の進行も著しい。

### イ 財政事情

令和2年度決算における振興山村市町村の財政力指数は、平均で0.444（県平均0.589）であり、財政力の脆弱な状態である。

このうち、県平均を上回るのは、16の振興山村市町村のうち2市にとどまり、特に財政力指数が0.16と極めて低い団体が1団体あるなど厳しい財政事情にあり、振興山村市町村においては地方交付税、国庫支出金、地方債等に大きく依存している状況がうかがえる。

### ウ 交通の状況

県下振興山村の道路改良は進んできているが、いまだ未改良区間が多数存在している。経済立地条件が不利である中で、路線バスの減便等が進んでいる地域も見られる。

### エ デジタルインフラの整備状況

振興山村の中には、携帯電話・ブロードバンドサービスを利用できない地域が依然として存在し、都市部との間にはデジタルインフラ環境に格差がある。

## オ 土地利用

振興山村は一般に平地が少なく、急斜面の面積の割合が高い上に小集落が散在するという特性を持っており、土地利用の上で制約が大きい。県下振興山村市町村の総面積中87.7%が林野となっており、この割合は県全体と比較して6.5ポイント高くなっている。また、耕地面積はわずかに1.9%と低く、その約8割が田となっている。耕地は河川に沿って段丘状に利用されていることから、その他の地域に比べ、土地利用性、労働生産性が低くなっている。

## カ 産業構成及び生産活動

県下振興山村市町村における就業人口の産業構成を見ると、令和2年の第一次産業の就業者数は16千人（振興山村市町村の就業者総数の4.7%）、第二次産業120千人（同34.7%）、第三次産業206千人（同60.6%）であり、県全体の第一次産業就業者数、29千人（県全体の就業者総数の2.8%）、第二次産業338千人（同32.7%）、第三次産業665千人（同64.5%）と比べて、第一次産業及び第二次産業の割合が高くなっている。

### （ア）農業

県下振興山村地域の令和2年における総農家数は、15,218戸（販売農家6,004戸、自給的農家9,214戸）であり、県全体の31.1%を占めている。このうち個人経営体（6,002戸）の内訳は、主業農家659戸（11.0%）、準主業農家650戸（10.9%）、副業的農家4,671戸（77.9%）となっている。

なお、平成27年から令和2年にかけて県下振興山村地域における総農家数は、18,390戸から15,218戸（▲17.2%）に減少している。

### （イ）林業

県下振興山村市町村の令和2年における林野面積は762,864haで、県全体の同面積の8割以上を占めており、振興山村が豊富な森林資源を有していることがわかる。

県内林業就業者数1,829人のうち、振興山村市町村の林業就業者数が1,456人であり、振興山村市町村の林業就業者が約8割を占めている。

#### (ウ) 水産業

本県は、全国でも数少ない海を持たない内陸県であることから、水産業は小さな産業であるが、主に、あゆ、にじます等淡水魚の養殖が行われている。県内漁業就業数199人のうち、振興山村市町村の漁業就業者数が134人であり、振興山村市町村の漁業就業者が約7割を占めている。

#### (エ) 工業

県下振興山村市町村に所在する令和2年における事業所数は約38,000で、平成27年と比較すると約3%の減となっている。また、従業員数は約314,113人で約1%の減となっている。

県下振興山村の工業の振興は、就労の場の確保につながることから、若年層の定住化のためにも、地域の特性を活かした地場産業の育成や新たな工業導入の促進などが課題である。

### **キ 近年の主な自然災害の発生状況**

近年では温暖化の影響により、大雨・短時間強雨が増加している。本県でも「平成30年7月豪雨災害」、「令和2年7月豪雨災害」や「令和3年8月の大雨」といった大規模水害が頻発しており、引き続き対策を充実させていく必要がある。特に、令和2年7月豪雨災害では、下呂市萩原では7月3日から31日までの降水量が1,800mmに達するなど、県内各地で記録的な降水量を観測した。この豪雨により、県内の44か所で山腹崩壊や土砂流出といった山地被害が発生した。また、土砂崩壊による道路寸断のため、県内17か所で孤立地域が発生したため、孤立地域への物資搬送などを行った。

### **ク 医療の状況**

山村地域の医療水準は、これまでへき地診療所などにより維持されてきたが、医師の地域偏在があり、診療所が設置されていない無医地区も存在する。また、地域の診療所の医師の高年齢化が進行している。

### **ケ 社会福祉の状況**

高齢化に伴い、介護給付等対象サービスや老人福祉法に基づく福祉サービスの利用ニーズは増えているものの、人材の不足などにより各サービスの提供体制が十分でない地域が見ら

れる。特に移動距離が長くなりがちな訪問介護事業所の経営が厳しい状況となっており、訪問介護サービスの提供が困難になりつつある。

## コ 教育の状況

県下振興山村市町村における令和7年4月の複式学級数は75と、平成28年4月に比べ19%増加している。また、小中学校数は28校減少し、他地域に比べ統廃合も進む傾向がある。県内振興山村内の高等学校は3校で、多くの生徒が山村外の高等学校へ進学している。

## サ 社会・生活環境の状況

県下振興山村の污水处理施設整備は年々進んでいるが、依然として一部地域において、未整備の地域が見られる。また、人口流出に伴う空家の増加やその管理が課題となっており、一部地域においては、移住希望者向けのマッチングサービスなどの取組を実施している自治体がある。そのほか、農業集落では非農家率が上昇し、特に人口減少が進む中山間地域では地域コミュニティの維持が困難となると予想される。

## シ 移住・交流の状況

振興山村によっては、新規就農や林業への就業等を契機に他地域から移住する住民が見られるが、依然として若者を中心とした人口流出が続いており、さらなる移住の推進が求められる。また、担い手の確保や地域の活性化を図るため関係人口の創出・拡大を目指し、各地域において域外からの観光客やリピーターを呼び込む取組も同時並行的に進められている状況にある。

## ス 労働力（所得の状況を含む）

令和3年の県下振興山村市町村の従業員数は310千人で県全体（885千人）の35.0%を占めている。産業構造としては、振興山村市町村以外の市町村と比較して、農林漁業の事業所数及び従事者数が若干多いなど業種ごとの違いが多少見られるものの、大局的には振興山村市町村以外の市町村と同様に建設業、製造業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業及び医療・福祉業が地域の基幹的産業として雇用の大分部を支えている。振興山村地域を有する町村部に着目すると農林漁業、建設業、製造業への偏りがより大きく、宿泊業・

飲食サービス業への偏りが小さいという特徴がみてとれる。

従業員数の推移（平成28年と令和3年を比較）をみると県全体では0.44%の増加（880,780人→884,667人）であるのに対し、振興山村市町村では1.43%減少（314,113人→309,622人）している。特に振興山村地域を有する町村部においては、4.81%（21,720人→20,675人）減少している。振興山村市町村とりわけ町村部において高い減少率を示しており、振興山村市町村における労働力の維持、確保のための施策が求められているといえる。

県下振興山村市町村の所得水準を人口一人当たり市町村民所得で見ると、令和2年度で2,683千円であり、県平均の2,799千円との格差は金額で116千円、対比で95.9%と振興山村市町村の所得水準の低さがうかがえる。

なお、振興山村市町村には大垣市や関市など所得水準が比較的豊かな市町村が含まれ、こうした市町村が平均を引き上げている面があり、県内振興山村市町村の中には、所得水準が2,500千円前後、あるいはそれを下回る団体も複数存在することに留意する必要がある。

## セ 自然環境や景観の保全状況

県下振興山村市町村は、県土の5分の4に当たる広大な面積を有し、その9割が林野で占められていることから、国土及び自然環境の保全、水源のかん養、森林資源の培養など、県民生活の上で果たす役割は大きい。

しかしながら、木材価格の低迷による収益性の低下等の理由により、林業生産活動が停滞しており森林の管理水準が低下している。

また、県下振興山村地域における耕地面積は、平成27年（7,994ha）から令和2年（7,022ha）にかけて12.2%減少しており、耕地面積の減少（あるいは耕作放棄地の増加）が憂慮されるところである。

## 第2 山村振興対策の成果と今後の課題

### 1 山村振興対策の成果

昭和40年に制定された山村振興法に基づき、昭和47年までに当時の53町村の全部又は一部の地域が振興山村として指定されたが、その後、現在までに第一期から第七期までの山村振興計画が順次樹立されており、各般の事業が実施されている。

#### (1) 第一期山村振興対策

山村における産業及び生活基盤の整備が、その他の地域に比較して低位にある現状を踏まえ、経済力と住民の福祉の向上、併せて地域格差の是正を図ることを目指し、振興山村の指定に伴い昭和40年から47年にかけて順次第一期山村振興計画を樹立し、計画に基づき各種施策を実施した。

#### (2) 第二期山村振興対策

第一期山村振興対策の成果を踏まえ、地域格差の是正対策の充実に加えて、緑地空間の利用開発を主眼に、各振興山村の特性に応じた整備を長期的な観点から計画的、総合的に行い、農業などの振興による就業機会の増大、それによる所得の向上及び生活環境の整備を図ることを目指し、昭和47年から54年にかけて財政事情等の理由により計画を樹立しない旧坂内村以外の全ての振興山村市町村で第二期山村振興計画を樹立し、計画に基づき各種施策を実施した。

#### (3) 第三期山村振興対策

第二期山村振興対策までの実績を踏まえ、若者を中心とする定住条件の整備を目指し「活力ある人づくりの推進」「個性ある村づくりの推進」「魅力ある環境づくりの推進」を基本的な方針として、昭和54年から63年にかけて、七宗町、八百津町、旧福岡町、旧金山町の4町を除く振興山村市町村で第三期山村振興計画を樹立し、計画に基づき各種施策を実施した。

#### (4) 第四期山村振興対策

第三期山村振興対策までの実績を踏まえ、地域資源を有効に活用して経済の活性化を図り、また、森林や農用地等の保全の推進を図ることにより、「安全でゆとりのある暮らしのできる

美しい山村づくり」を目指し、平成3年から10年にかけて、関ヶ原町、旧伊自良村、旧武儀町、七宗町、八百津町、旧中津川市、旧恵那市、旧川上村、旧福岡町、旧上矢作町の10市町村を除く振興山村市町村で第四期山村振興計画を樹立し、計画に基づき各種施策を実施した。

#### (5) 第五期山村振興対策

これまでの山村振興計画の成果により、振興山村における産業基盤、生活基盤とも基礎的な整備については着実に成果を挙げてきているものの、依然として都市との格差は解消されていないこと、さらに振興山村における課題は、都市住民を含めた国民全体に係わる問題であるとの認識のもとで、他地域との連携の上、国民の多様な生活様式に対応できるよう「豊かな自然環境とうるおいのある生活環境を有する活力ある山村社会の構築」を目指し、平成11年から16年にかけて、23の振興山村市町村で第五期山村振興計画を樹立し、計画に基づき各種施策を実施した。

#### (6) 第六期山村振興対策

五期にわたる山村振興計画により各種施策が実施されてきたところであるが、引き続き都市との格差の解消と、森林等豊かな自然環境の保全のため、平成17年から27年にかけて、高山市、揖斐川町の2市町村を除く振興山村市町村で第六期山村振興計画を樹立し、計画に基づき各種施策を実施した。

#### (7) 第七期山村振興対策

六期にわたる山村振興計画により各種施策が実施されてきたところであるが、引き続き都市との格差の解消と、森林等豊かな自然環境の保全のため、平成28年から令和7年にかけて、各振興山村市町村の実情に応じて第七期山村振興計画を策定し、計画に基づき各種施策を実施した。

## 2 今後の山村振興対策の課題

### (1) 交通について

基盤整備については、山村地域の生活を支えるため、経済の発展や観光振興に必要な道路整備を進めるとともに、災害に強い道路整備を進める必要がある。

公共交通機関については、人口減少・高齢化に伴う利用者の減少、運転手不足等の理由により、縮小がみられる地域があり、対策が求められる。

### (2) デジタルインフラの整備

顕著な人口減少下にある振興山村においては、人手不足を補う観点において特にデジタル化やデジタル・トランスフォーメーションの進展が求められる。

しかし、その基盤となる携帯電話基地局や光ファイバ等のデジタルインフラが十分整備されていない地域もあることから、地域間格差の解消に向けて地域ニーズに応じたデジタルインフラの整備を促進していく必要がある。

### (3) 産業基盤整備について

これまでの60年余りにわたる山村振興対策の積極的な推進により、道路、農林漁業等生産基盤、治山治水施設、水道等の産業や生活の基盤整備は一定の成果を挙げてきており、振興山村における住民生活の利便性の向上が図られている。

しかし、生活排水処理施設や市町村道等は、他地域との格差が依然として存在しており、これらを是正するための整備を進める必要がある。

農地については、令和7年3月までに県内の市町村が策定した「地域計画」において、県内の地域計画区域内の農用地等のうち、10年後の耕作者が位置付けられていない農地面積の割合は43%に上った。地域計画のブラッシュアップと実現に向けた活動を支援するとともに、農地中間管理機構等と連携して将来の受け手への農地の集積・集約化を進める必要がある。併せて、農業用水の安定供給と良好な排水条件確保のため、農業用排水路など農業水利施設の補修・更新を推進する必要がある。

### (4) 産業の振興

振興山村の活性化を図っていく上で最も重要な課題の一つが、就労の場の確保であり、特

に若年者の定住を進めていくための魅力ある就労の場が必要である。

このことは、新規学卒者の地域内就労の促進のみならず、U I J ターンの推進にとっても重要である。

振興山村においては、農林業が地域の重要な産業であるとともに、農林業の振興が産業振興のみならず、国土の保全等公益的機能の発揮、さらには伝統的な美しい山村景観の維持形成を図るという観点から活力ある農林業が安定的に営まれていくことが重要な課題となっている。また、農林業への新規参入を促す施策を積極的に展開することも重要である。

また、振興山村には豊かな自然環境があり国立、国定公園をはじめ、県立自然公園の指定を受けているほか、温泉、スキー場、森林空間を活用した森林サービス産業、木工などの地場産業、伝統文化といった貴重な観光資源にも恵まれている。このような地域の個性を活かした内発型の産業振興によって所得の向上及び雇用の確保を目指していくことも重要である。

## **(5) 防災について**

近年は、気候変動の影響により全国各地で豪雨災害が激甚化・頻発化していることや、令和6年能登半島地震において多くの地域が長期間にわたり孤立した教訓を踏まえ、なお一層の防災対策の推進が不可欠である。本県においても600を超える孤立予想地域が中山間地に存在することから、地震や風水害などの大規模災害時には、多数の孤立地域が発生することを想定しておく必要がある。強靱化の取組を緩めることなく進めていくとともに、絶えず災害対策の改善による被害の最小化を図っていく必要がある。

また、林野火災は、降水量が少なく空気が乾燥し、強風が吹く2月から5月頃に多発する。この時期は火入れの実施や、山菜採り・ハイキング等による入山者の増加に伴い、火の不始末など人的要因による出火が多い。こうした状況を踏まえ、広報・啓発活動の強化に努めていく必要がある。

## **(6) 医療について**

地域の診療所の医師の高年齢化が進む一方で、本県の65歳以上の医療需要は今後も増加する見込みであり、引き続き住民が必要な医療を受けられる機会を確保する必要がある。

多くのへき地診療所は医師が単独で勤務している状況であるため、医師に健康面での支障が生じた場合等には、医療提供体制を維持するため、へき地医療拠点病院による医師派遣等

の医療機関の連携のための取組が必要である。

また、高齢化の進行に伴い、在宅医療の需要が高まることが予想され、医療・保健・福祉分野が連携して地域包括ケア体制を構築する必要がある。

## **(7) 社会福祉について**

高齢化に伴い、介護給付等対象サービスや老人福祉法に基づく福祉サービスの利用ニーズは増えているものの、人材の不足などにより各サービスの提供体制が十分でない地域が見られる。特に移動距離が長くなりがちな訪問介護事業所の経営が厳しい状況となっており、訪問介護サービスの提供が困難になりつつある。

利用者へのサービスが適切に提供されるよう、地域の介護・障害福祉事業者の協働化や連携を進めるとともに、テクノロジーの導入や経営改善に向けた取組への支援が必要である。

障がい福祉分野においては、精神障がい者や障がい児を中心に障害福祉サービスの利用が伸び続ける中、障害福祉サービスの提供体制や地域資源について都市部との地域差があることから、障害福祉サービスの維持や確保が必要である。特に、地域の状況に応じたサービス提供体制や支援体制を構築していくことが重要である。

## **(8) 文化や教育について**

文化については、振興山村においては、能・狂言及び地歌舞伎等の民俗芸能や工芸技術をはじめとする伝統文化が数多く伝承されていることから、今後もこれら伝統文化を保存・活用し、地域の活性化につなげるとともに、次世代へ伝えることが必要である。

教育については、少子化に伴う児童生徒数の減少により、学級数の減少や複式学級が増えている状況であり、他地域と同水準の教育を受けられるような体制や、デジタル技術を活用した遠隔授業の活用等、地理的な条件を補う環境整備が課題である。また併せて、廃校の活用が課題となっている地域が多い。高等学校への進学に伴い、居住する山村外の学校への通学が必要となる場合には、交通の利便性が悪く時間を要する、交通手段の確保が難しいといった課題がある。

## **(9) 社会・生活環境について**

振興山村における農作物への鳥獣被害は、被害額以上に生産意欲の減退や、農村集落の機能低下を招く重要な問題であり、持続的・効果的な対策が必要である。

また、住宅、集落道、水の確保や廃棄物の処理等、生活に欠かせない施設の充実や、買物しやすい環境や高齢者の見守りなどを行う地域の共同活動の維持・創出が課題であるほか、感染症が発生した場合でも生活の安定や福祉の向上が保たれる必要がある。

### **(10) 都市山村交流、U I Jターンの推進（移住・交流について）**

山村にある豊かな地域資源を活用した様々な体験の機会を創出することによって交流人口の増加を図り、振興山村を活性化させるとともに、都市住民の多様なライフスタイルの実現等の要請に応じていくためには、U I Jターンによる移住や二地域居住の促進、地域間交流による関係人口の創出・拡大が重要である。

地域間交流やU I Jターンの推進に当たっては、山村地域に関心を持ってもらうための情報発信、体験機会の創出、移住者等の仕事、住居、子育てなど生活面での各種支援をこれまでも増して積極的に展開していくことが求められる。

交流者やU I Jターン者については、単に人口の移動としてのみ捉えるのではなく地域を支える新たな担い手として、これらの人々が都市部で培ってきた能力を地域の活性化に活かしていくという視点が重要である。

### **(11) 担い手の確保**

振興山村においては、依然として若者を中心とした人口の流出と高齢化が進行しており、農林業及び地場産業の担い手や地域リーダーの育成、確保が課題である。

職業上の理由により若者の県外流出が続いており、特に女性において顕著となっている。要因の一つである、性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）の解消に向けた取組みを進めるとともに、男女ともに仕事と家庭を両立しながらその能力を発揮できる職場環境の整備等が必要である。

また、各地で外国人材の活用が進められているが、地域住民との共生に向けて、生活環境の整備や円滑なコミュニケーションを確保するための取組みを進める必要がある。

### **(12) 森林、農用地の適切な管理（自然環境の保全及び再生について）**

振興山村の大部分を占める森林、農用地は、国土・自然環境の保全、水源かん養等の観点から重要である。しかし、近年の木材価格の低迷など林業を巡る環境が厳しさを増し、森林所有者の森林管理意欲が低下していることから、民有林における間伐の実施など森林整備の

遅れが見られる。

農用地については、耕作放棄地の増加が大きな問題となっている。耕作放棄地は特に振興山村に多く存在し、国土・環境の保全、及び健全な水循環系の維持などへも悪影響を及ぼしている。

さらに、地球の温暖化や、食糧、資源の制約の高まりの中、地球環境の保全を進め、いかに循環型、自然共生型社会を形成するかが課題である。

このような状況から、居住者の減少や高齢化、それに伴う小規模集落の増加により、従来行われてきた森林、農用地などの地域資源の管理が行われない地域が広がると懸念されることから、日本型直接支払制度や農地中間管理事業等を活用し、農地の保全に努め、振興山村の持つ多面的機能の維持を図る必要がある。

その一方で、農林業を活性化し、多様な担い手の育成に努めるとともに、広範な県民参加による森林及び山間農用地の整備や治山治水事業を推進することが必要である。

さらに、地球規模での環境問題に貢献していくために、森林が有する「二酸化炭素を吸収し、炭素を貯蔵する機能」や、森林資源を活用した木質バイオマス等の再生可能エネルギーの利活用の促進などに着目しつつ森林を整備することが重要である。

### **(13) 自立した地域社会づくり**

これからの山村振興に当たっては、山村に住む住民の自主的な取組みを十分に尊重しながら、地域住民と関係機関が互いに協力して活動する「県民協働」を基本とし、振興山村の将来像を描きつつ進めていくことが重要である。

### 第3 振興の基本方針及び振興施策

#### ○ 振興山村の振興の意義及び方向に関する事項

##### (1) 本県の特性

本県は、県土の81%が山林であり、この割合は全国第2位である。飛騨の匠の名は古くから全国に知れ渡り、また岐阜県民の歌においても「岐阜は木の国 山の国 伸びる希望を 歌おうよ」とされるなど、<sup>いにしえ</sup>古から今に至るまで山国であることを誇りにしてきた。

山村は、きれいな空気や豊かな水、恵まれた自然、あたたかい人情や匠の技、さらにそれぞれの山村固有の歴史・文化・伝統など豊かな個性を有している。山村は、これらの恵みを享受し、ゆとりある居住環境や地域資源の良好な管理、地域特性を活かした産業、都市山村交流の場、歴史文化の保持といった役割を果たしてきた。

県民全体が将来にわたってこれらの恩恵を享受することができるよう森林等の保全を図り山村を守っていくためには、ふるさとへの愛着や誇りの醸成、地域特性を活かしたまちづくりや移住定住の支援、新たな魅力の創出など、各地域がそれぞれの魅力を高めるための取組みを進める必要がある。

##### (2) 国土強靱化等の視点

これまで述べてきた地勢的・社会基盤上の条件不利地域である山村が、今後も輝く地域であり続けるためには、まず、“安心”して住むことができなければならない。そのために、岐阜県強靱化計画に基づき「災害に強い地域づくり」に取り組む必要がある。また、安心して利用できる「交通網の確保」や適切な医療や介護サービスが受けられる「医療と福祉の供給体制の充実」、安心して子どもを生み育てることのできる「子育て環境の充実」、互いに助け合うことのできる「地域コミュニティの維持・活性化」など、暮らしの安全・安心が確保された山村を目指す。

次に、山村に“活力”がなければならない。このため、産業基盤整備、担い手の育成を進めるとともに、「産業振興」とりわけ人と地球の健康を守る「農林水産業の振興」に配慮する。

また、近年の著しい情報通信技術の進展は、山村の持つ地理的条件の不利性を克服し、日常生活における安心した暮らしや産業振興の面における山村の制約の克服など多様な活用が期待されるため、引き続き「情報流通の円滑化及び通信体系の充実」を図る。

### (3) 県民協働による振興

これからの山村振興に当たっては、これまで以上にそれぞれの山村地域の特性を活かした創意工夫が求められる。そのためには、地域のことを一番よく知っている山村に住む住民が、自ら郷土の歴史や伝統文化、美しい自然など、ふるさとに誇りを持つとともに、自分のふるさと自慢を見つけ出し地域づくりに活かすなどの“自立”した地域づくりが期待される。このため、ふるさと教育などの文教施策を進めるとともに自主的に行われる地域づくりを支援する。

また、山村振興は、都市住民を含めた県民全体に係わる重要な課題であることから、積極的に都市をはじめとした他地域との交流、連携を進め相互に補い合うとともに、都市の持つ活力、知恵などを活かすことが今後の山村振興にとっては重要である。このため、山村の持つ恵まれた自然や歴史、文化を活かし人々の多様な生活様式に対応した、「都市と山村との交流」について最大限配慮することとする。

なお、山村振興は、もとより行政のみで成し得るものではないので、県民、地域住民組織\*、NPO、市町村、県等が、将来の姿を共有しながら一体となって協力し活動する、「県民との協働」を基本とする。特に近年コミュニティの弱体化が懸念されているため、従来コミュニティによって担われていた様々な活動を多様な主体が補完し合うことによって、地域づくりを進めていくことが重要である。

また、今後の財政制約下における施策の実施に当たっては従来にも増して施策の選択と集中を要する。このため、山村振興のための各種事業の実施に当たっては、庁内関係部局はもとより国、市町村をはじめ関係機関と連携を密接に図りつつ、関係事業主体が地域の特性を活かし総合的かつ有効適切に実施することとする。

---

\* 地域住民組織 : 小学校区や中学校区程度の範囲における自治会、町内会を中心として、老人会、婦人会、PTA、青年団等の特別な属性を持った地域組織、スポーツ同好会等の特別な目的を持った地域組織を加えた地域社会集団の総称。

## ① 交通施策に関する基本的事項

東海環状自動車道、東海北陸自動車道及び中部縦貫自動車道等の高規格道路や、地域をつなぐ幹線道路及び生活道路の整備により、振興山村における利便性は向上しているが、依然として地域格差が存在していることから、引き続き、振興山村における道路網の整備を推進する。

道路の整備に当たっては、災害直後から有効に機能する緊急輸送道路や、救急医療機関等へのアクセス、産業の振興、地域間の交流促進等の観点を踏まえ、地域の実情を勘案しながら体系的な道路網の整備を進める。また、生活道路については、一定の水準を確保する視点と今後の集落の動向等を踏まえ、計画的な整備に努めるとともに、国道、県道との連携を図りつつ市町村道の代行整備を推進する。

また、大規模災害時に孤立地域が発生した場合には、迅速な支援が行えるよう、「岐阜県孤立地域対策指針」に基づき、孤立予想地域調査を行うとともに、市町村による備蓄・資機材の充実を促進し、実践的な訓練を実施する。

一方、運転のできない高齢者や高校生などにとって重要な移動手段である公共交通機関は、鉄道、バスともに利用者が年々減少し厳しい経営状況が続いており、運転手不足等も相まって事業者の自助努力だけでは路線を維持していくことが困難な状況にある。特に振興山村にあっては、路線バス撤退後の代替交通として市町村がバスを運行する路線も増えており、市町村の財政負担が大きくなっている。

そのため、既存の公共交通の維持・確保とともに、市町村におけるデマンド交通や公共ライドシェア等の導入を含め、地域の実情と利用者のニーズに応えた持続可能な交通モードの構築を図り、住民の生活の足の確保を支援する。

## ② 情報通信施策に関する基本的事項

振興山村では都市部と比べて基盤となるデジタルインフラの整備が十分に進んでいない地域もあることから、地域間格差の解消等に向けて地域ニーズに応じた環境整備を引き続き進めるとともに、安心して暮らせる地域社会を形成できるよう、産業、交通、流通、保健・医療・福祉、教育、防災・安全、住宅など様々な分野でのデジタル技術の利活用を支援する。

## ③ 産業基盤施策に関する基本的事項

農林道の整備及び市町村が管理する基幹的な林道の代行整備については、振興山村の農林

業振興の基盤となるものであり、国、県、市町村道等との連携を図り、農地や森林の状況に配慮しながら整備を進める。

また、地域の特徴を生かした持続可能な農業を実現するため、地理的条件や営農実態に合わせた基盤整備を実施するとともに、農業用排水路、農道等の計画的な補修・更新を進める。

さらに災害に強い振興山村づくりに向け、農業の有する多面的な機能も踏まえ、「流域治水」として「田んぼダム」の取組を進めるとともに、ため池を含む農業水利施設等の適切な保全管理と災害対策を進める。

#### ④ 産業振興施策に関する基本的事項

豊かな自然環境に恵まれ、やすらぎと静穏な環境下にある振興山村は、「田舎暮らし」に代表される人々の多様なライフスタイルの実現という要請に応え得る地域であるとともに、清浄な水や、静寂な環境、取得しやすい土地の提供などを通じて、新たな産業の可能性を有している。

こうした多様な地域資源を十分に活用した複合的な産業活動の育成のため、地域特産物の付加価値を高め、差別化を進めるとともに、的確なニーズの把握、迅速な商品開発といった活動にも努める。

また、厳しい環境下にある地場産業の振興を図るために、女性や高齢者の知識や経験を十分活かし、新製品の開発や販売など各種プロセスにおいて取り入れることができるような体制づくりに努める。

そのほか、地域資源の有効利用を図り、地域振興につなげるため、農業水利施設を活用した小水力発電施設の整備、森林資源に代表される豊富な木質バイオマスの利用施設及び加工流通施設の整備や、燃料材を生産する「エネルギーの森」の整備を支援するなど、「エネルギーの地産地消」更には近隣の木質バイオマス発電施設への供給などを推進し、再生可能エネルギー産業の創出を目指す。

##### (1) 農業振興

農業は、食料を安定的に供給するとともに、洪水防止などの県土の保全や水源のかん養、良好な景観の形成などの多面的機能を有し、振興山村の基盤となる産業である。

振興山村では、冷涼な気候を活かして夏秋野菜や花きなどの農畜水産物が生産されていることから、美味しさを含めた魅力ある農畜水産物の生産拡大を推進するとともに、付加価値

を高く評価してもらえ販売先の確保に向け、新たな流通ルートの開拓、販路拡大を推進する。また、新規就農者など、地域農業を牽引する経営体と、多様な農業を担う主体の育成・確保を図る。さらに、農地、農業用排水路、農道等の生産基盤の整備、鳥獣害対策や耕作放棄地対策の推進などにより、住みよい山村づくりに総合的に取り組む。

野生鳥獣は、元来山野に生息し、人間と共生し、振興山村に大きな利益をもたらしてきたが、振興山村の過疎化、高齢化の進行に伴う人間活動の低下、餌場や隠れ家となる耕作放棄地の増加、林業活動の停滞や温暖化に伴う環境の変化により、野生鳥獣の生息域が拡大傾向にあるなど、生息形態が大きく変化してきている。

このような状況の中、野生鳥獣は農林水産物に被害を及ぼし、自然生態系へ悪影響を与え、山村地域の環境を悪化させているなど、住民の農林水産業の生産活動、日常活動に支障を与えている。

特に、本県では農林水産業に被害を及ぼすイノシシ、ニホンジカ、サル、カワウさらに人的被害も及ぼすクマの被害が深刻であることから、過去の被害状況、鳥獣の生息状況など十分な調査を行い、侵入防止柵の設置による被害の防除、農用地・森林等の適正管理、計画に基づく個体数管理、有害鳥獣捕獲等を組み合わせ、地域ぐるみの総合的対策を講ずる。

## **(2) 林業振興**

振興山村の重要な就業の場である林業は、収益性の低下により非常に厳しい状況下にある。しかしながら、公益的機能の発揮に不可欠な森林を整備すること、及び再生可能でかつ環境への負荷が少ない資源である木材の利用を促進することは、環境問題を考えた上で非常に重要であることから、林業振興の積極的な展開を図る。

また、「山を守る林業」の振興策として県産材の公共施設等非住宅建築物や木造住宅への積極的な利用拡大、健全な森林整備を促し「活力ある山村地域の循環システムづくり」を総合的に推進する。

## **(3) 水産業振興**

振興山村においては、あゆやあまご・やまめ、いわななどの溪流魚が地域資源として存在することから、これら水産資源の生息に適した河川環境の保全整備や良好な水辺環境の保全、整備を図りつつ、付加価値の高い内水面漁業の育成・強化を進める。

## ⑤ 防災に係る施策に関する基本的事項

振興山村は、斜面の崩壊や浸食による土砂災害や山地災害が発生しやすいことから、山村地域住民の安全・安心な暮らしを確保するため、地すべりや山地崩壊、土石流、雪崩などの自然災害を未然に防止する砂防施設等の整備を計画的に実施する。

また、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、河川改修やダム建設などの対策をより一層加速するとともに、流域のあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う「流域治水」や道路における緊急輸送道路の確保等、社会インフラの整備を推進する。あわせて、住民の防災意識の高揚、自主防災組織の育成・支援、避難誘導等のソフト施策の強化に努める。

また、林野火災注意報や林野火災警報の的確な発令とこれらの発令中における火の使用の制限によって林野火災予防の実効性を高め、併せて、春先の乾燥時期や行楽シーズンなど森林への入り込み者が多い時期における災害発生時に対する体制を整備するとともに、災害に即した消防車両の配備を進めるなど、機動力の確保に努めるほか、山火事の延焼を防ぐ防火線の整備のため、森林管理用の林道についてもより一層整備に努める。

さらに、災害時の集落の交通、通信途絶を回避するため、迂回路等複数の交通ルート、多重系の情報通信基盤の確保を図るとともに、迅速な支援が行えるよう、「岐阜県孤立地域対策指針」に基づき、孤立予想地域を調査するとともに、実践的な訓練を実施する。また、市町村による備蓄・資機材の充実を促進するなど、防災備蓄等災害時の十分な備えを進める。

また、山村が担う国土の保全、清浄な水や空気の供給、保全機能、自然環境の保全等の公益的機能が十分発揮されるために、適切な地域計画との調整を図りながら、農業農村整備事業や治山治水事業等を着実に実施するとともに、農林業の振興による森林、農用地の適切な管理に努める。

間伐などの手入れが不足した放置森林や主伐後の伐採跡地では、集中豪雨などによる災害が懸念されることから「災害に強い森林づくり」を目指し、計画的な間伐や再生林を実施する。今後、世帯数が少ない集落や、高齢者世帯の増加とそれに伴う集落の荒廃が予想されることから、そのような情勢に対応して、公益的機能を維持確保するため、小規模集落の周辺の森林、農用地の維持管理のあり方を検討するとともに、そのような地区における新たな土地利用のあり方について、行政、住民が合意形成に向けた話し合いを十分行うこととする。

## ⑥ 医療の確保に係る施策に関する基本的事項

振興山村の医療水準は、これまでの関係機関の努力により改善されてきたが、依然、都市部と比べ格差が存在することから、住民が必要な医療を受けられる機会を確保する必要がある。このため、基礎的、基本的医療の確保を目指したへき地医療機関等の整備を図るとともに巡回診療やオンライン診療の実施を含め、山村の医療体制を維持するための取組を進める。また、医療、保健分野における都市部等との地域連携を深め、健康増進から疾病の予防、治療、リハビリテーションに至る包括的な医療の供給体制の充実に努める。

医療人材の確保については、「岐阜県医学生修学資金貸付制度」や「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」などによる医師確保策に加え、「岐阜県看護学生修学資金貸付制度」やニーズに応じた研修の実施、ナースセンターによる再就業支援などの取組みにより、看護職員等を育成・確保する。救急救命士の確保についても、養成研修や追加講習等により人材育成と資質向上を図り、救急業務の高度化に努める。

また、医療機関と消防機関との連携を強化し、通報から医療機関までの迅速な搬送、初期救急医療体制から救命救急センターへの搬送、救急車内での救急救命士による初期処置、さらに、医療機関と消防機関、防災機関（防災航空センター）の連携を強化し、緊急時にはドクターヘリや県防災ヘリコプターなどによる搬送により救命率の向上を図る。

## ⑦ 社会福祉施策（子育て環境の確保に関する施策を含む。）に関する基本的事項

高齢化が全国平均を上回るペースで進行する中、高齢者をはじめ介護を必要とする住民が、慣れ親しんだ山村においてできるだけ安全・安心に社会参加活動を行いながら自立して暮らしつつ、適切な介護サービスが受けられるよう、介護予防対策や地域リハビリテーション体制の整備に加え、介護給付等対象サービスに従事する者の確保及び介護施設の整備等の施策を推進する。

また、高齢化・人口減少が進む振興山村においては、必要な障害福祉サービスの維持や確保が課題である。

このため、市町村自立支援協議会や市町村が作成する「障害福祉計画」・「障害児福祉計画」において、総合的かつ計画的にサービスの提供体制を確保していくとともに、地域生活支援の機能を強化するため、基幹相談支援センターや地域生活支援拠点等の機能充実に努め、地域における効果的な支援体制の構築を推進していく。

また、振興山村地域では、高齢化と同様に少子化も深刻化しており、次代を担う子どもの減少に歯止めをかけるため、安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりを行うことが喫緊の課題である。

このため、妊婦期を含めた子どもの成長段階に応じた相談体制の充実に努める。さらに、未就学児の保育ニーズに応えるため、子どもの減少に伴う保育所の統廃合等については地域のニーズを踏まえて慎重に進めていく。また、他地域と同様、病児・病後児保育、一時保育などの充実や保護者が昼間留守となる家庭のニーズに応えるための放課後児童クラブ等放課後の子どもの居場所づくりの支援も図っていく。

また、全ての世代の住民が主体的で積極的な健康づくりが行えるよう、地域の関係機関や自治会、老人会など各種団体と連携を図りながら健康づくり対策を展開していく。

## ⑧ 文教施策に関する基本的事項

### (1) 教育、学習環境の充実

振興山村においては、小・中学校の統廃合が進んできた地域や、小規模校のまま存続させることが必要であると考えた地域がある一方で、学校規模の適正化の必要性は認識しつつも、現段階では具体的な検討に至っていない地域もある。そういった地域の実情を踏まえながら、児童生徒が豊かな自然環境や歴史、伝統文化、地場産業等を探究したり、地域の様々な活動に参加したりする「ふるさと教育」の充実に努め、振興山村の地域性を活かし、ふるさとへの誇りと愛着を育む教育を推進する。

また、振興山村は、豊かな自然等を活かした自然体験学習の場を積極的に提供することができるため、各種の自然や農林漁業体験のための交流・宿泊施設の整備に加え、指導者やインストラクターの設置等、振興山村のソフト・ハード両面にわたる総合的な受け入れ体制の整備を推進する。

さらに、快適な教育・学習環境を整備・充実させるため、老朽化した小・中学校の改築等に当たっては、木材等の地域資源を有効に活用し、地域にふさわしい施設となるよう配慮するとともに、小・中学校の施設整備に対する財政支援や、統合により遠距離通学を余儀なくされる児童生徒のための通学対策支援について、国に対し、要望を行っていく。

また、小規模校の特性を活かしたきめ細かな指導を充実させ、どの児童生徒にも「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」が調和的に育つよう、国に対し、教職員定数の確保について継続的に要望しながら、教職員の加配等の支援を行っていく。

さらには、振興山村においても、グローバル化や高度情報化社会の進展に対応するため、ICTやソーシャルメディアを含めた多様なメディアを活用して協働学習や課題追究型の学習を行う中で、必要とする情報や信頼できる情報を取捨選択する能力を育成するとともに、都市部や海外との交流授業を進めることについても検討する。

## (2) 文化の振興

振興山村においては、能・狂言及び地歌舞伎等の民俗芸能や工芸技術をはじめとする伝統文化が数多く伝承されていることから、今後もこれら伝統文化を保存・活用し、地域の活性化につなげるとともに、次世代へ伝えることに努める。

また、先人である地域の高齢者の知見や技能、技術を活用しつつ、地域住民が一体となった保存活動や児童生徒の伝承教室開催等側面的な促進、U I J ターン者の積極的な参入促進支援に努める。

## ⑨ 社会、生活環境施策（集落整備施策含む。）に関する基本的事項

振興山村においては、高齢化の進展により、相互扶助等を行う伝統的な集落の機能が低下傾向にあるため、集落の再編整備やより広い範囲での集落機能の再構築などを図るとともに、集落機能の健全な維持が危惧されるような場合においては、行政による各種機能補完の充実も進める。

このため、地域の実情や特性を勘案しつつ、集落環境の整備、拠点となる公共施設の整備などを進めるとともに、地域おこし協力隊や集落支援員を活用した活性化事業など各種ソフト事業の充実を図る。

また、都市等地域外の住民との交流を積極的に推進し、二地域居住や交流居住、さらには若者をはじめとする新たな住民の移住・定住を促進し、開かれた地域社会を形成する。

なお、公共施設等の整備にあたっては、近隣市町村等との連携のもと、広域的観点からその計画的整備を検討していく。また、県内5圏域の自立的発展を目指す観点から、広域行政を一層推進し、集落再編整備を進める必要がある。

そのほか、近年、安全できれいな水、おいしい水への希求が高まる中であって、振興山村の暮らしも大きく変化してきており、特に生活雑排水などの処理は、住民の生活環境の整備はもとより、水源地域における水質の保全という面からも不可欠である。

簡易水道の整備については、振興山村の住民が安全で衛生的な水道水の供給を受けられる

ようにするため、水道の未普及地域の解消に努める。

また、生活排水処理施設については、急峻な地形や施設の受益範囲、単位が小規模であるなどコスト増の要因を踏まえ、効率的な整備となるよう、公共下水道、集落排水処理施設、浄化槽などそれぞれの特性を活かし計画的な整備を促進する。

## ⑩ 移住・交流施策に関する基本的事項

振興山村で生活する人と都市住民との交流に配慮した地域づくりを進めるため、生活環境、交流環境を整備する。

一方、山村には豊かな自然環境や伝統文化があることから、これらの資源を活かし、自然体験、生活文化体験、農業体験といった体験型の観光メニューを充実させることにより、付加価値の高い滞在型観光地づくりを進める。あわせて、中京圏はもとより首都圏、関西圏といった大都市圏や、海外における観光展などにおいて、山村の有する観光資源を積極的にPRすることにより、国内外からの誘客拡大につなげていく。

振興山村への移住定住対策については、人口減少社会においても地域が活力を保ち続けるために「地域の原動力となり地域の将来を支える人を呼び込む」という視点から、移住定住又は二地域居住を希望する方々に対して様々な形で情報提供や相談を行う。

## ⑪ 担い手施策（労働条件の改善に関する施策を含む。）に関する基本的な事項

農林業の担い手を確保するためには、地域の実情に即して法人化など多様な経営形態の展開を推進するとともに、農外企業の参入を促進する。地域の森林整備の中心的担い手としての森林組合や林業事業体の育成、強化に努める。

また、農林業への就業者の増加を図るため、高等学校や専門学校、大学等との連携を進めるとともに、県内外の農林業に興味のある方向けの相談会を開催するなど就業促進に努める。更に、新たに農林業へ就業しやすい体制を整備するため、多様なニーズに即した研修の実施や円滑な経営継承の取組強化等、就労条件・労働環境等の改善など、支援・受け入れ体制の強化を図る。

そのほか、野生鳥獣による農林水産業の被害軽減に向けて、対策を実行するための地域リーダーや野生鳥獣の捕獲に関わる人材の育成・確保を図る。

## ⑫ 自然環境の保全及び再生に係る施策に関する基本的事項

森林については、森林の有する国土の保全、水源のかん養などの公益的機能を十分発揮させ、計画的な間伐や治山対策を進めるとともに、自主防災組織やNPOなどと協働して、地域住民と下流の都市住民との上下流連携による森林づくりを推進する。

森林づくりの推進主体として、市町村を単位とした地域森林管理体制の整備を促し、地域の実情に即した健全な森林づくりに取り組むほか、将来の森林づくりを担う新規就業者を早期に養成するため、関係団体と連携して、技能に応じた知識と技術の習得に必要な研修を実施する。

農用地については、食料の生産の場のみならず、雨水の保水、貯水などの多面的な機能を有している。特に、振興山村の農用地が持つ多面的機能は、下流域である都市部に与える影響が非常に大きい。平坦部に比べて急勾配で面積が狭隘で、かつ広大な法面があるなど作業効率が低いことに加え、野生鳥獣による農作物への被害など深刻な問題を抱えていることから、農業者と非農業者が一体となり地域共同で行う草刈りや補修などの活動を支援するとともに、これらの活動が継続的に行われるよう、多様な組織等の参画による体制強化を推進する。

## ⑬ その他施策

森林や農用地が農林業の生産活動の場として適切に管理されることにより、美しい景観・豊かな里山空間が維持、形成されるという観点から、居住地域と生産地域を一体的に捉え、住民、集落、行政が連携して統一された理念、目標の下に周囲の景観と調和のとれた計画的な土地利用、住宅等の配置、施設、建築物のデザイン等を実現していく。

なお、地域産業の振興や地域住民の福祉の向上のため、開発等が必要な場合にあっても、山村景観の保全に十分留意するとともに、環境への影響を最小限化するよう努める。

## 第4 他の地域振興等に関する計画、施策等との関連

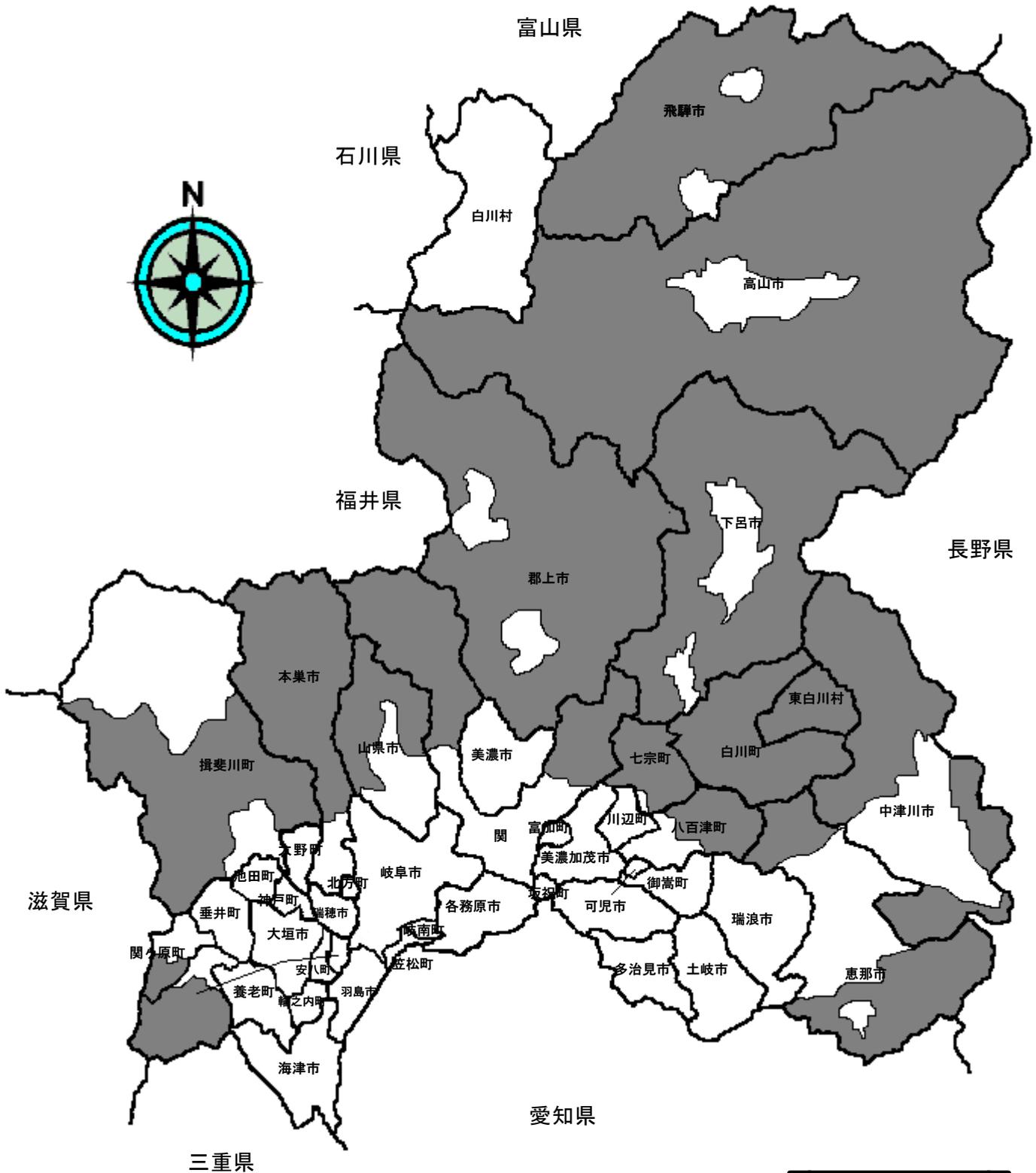
本県では、山村振興基本方針のほかに、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（令和3年3月31日法律第19号）による過疎地域持続的発展方針・過疎地域持続的発展計画、豪雪地帯対策特別措置法（昭和37年法律第73号）による豪雪地帯対策基本計画及び辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律（昭和37年法律第88号）による辺地総合整備計画など、各種計画が策定されているため、山村振興計画の実施に当たってはこれらとの整合性を図りつつ、より効果的となるよう推進する。

なお、この方針は、県内振興山村地域の振興のための基礎的な指針となるべきものとして定めるものであり、例えば、この方針に記載のない事項であっても、各振興山村市町村において必要と判断した独自の事項について、山村振興計画や各種施策に反映させることを妨げるものではない。

# 参 考 资 料

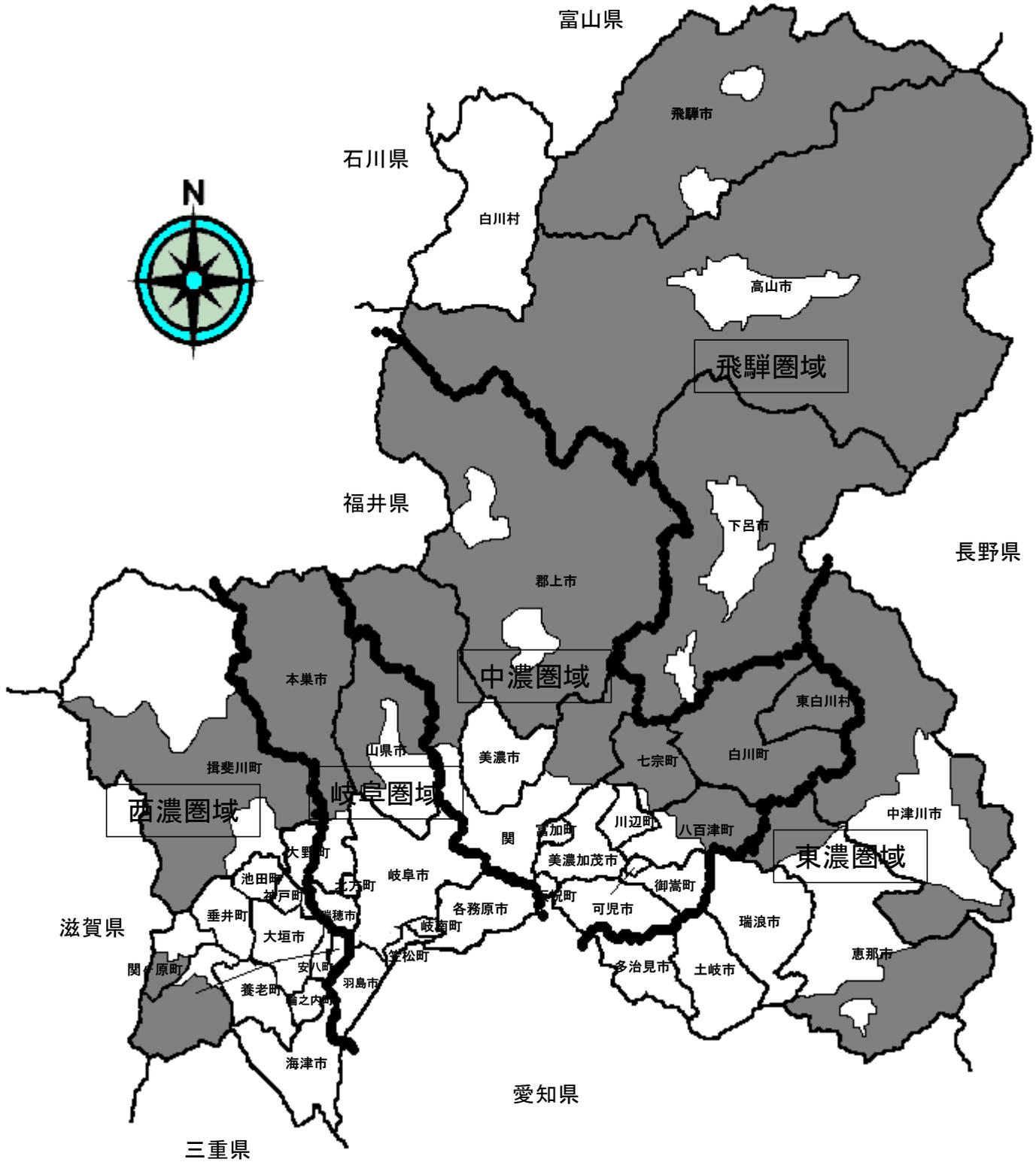


# 振興山村指定位置図



凡 例	
振興山村	

# 5 圏域 図



凡 例	
振興山村	

■ 山村振興地域の面積、人口の状況

市町村名	旧町村名	振興山村名 (旧市町村名)	総面積 (ha)	世帯数 (戸)	人口計(人)		
					計	男	女
山県市	伊自良村	<旧伊自良村の一部>上伊自良村	1,893	468	1,362	622	740
	美山町	<旧美山町の一部>北山村 葛原村 乾村	12,353	638	1,438	691	747
本巢市	本巢町	<旧本巢町の一部>外山村	3,734	444	1,316	593	723
	根尾村	<旧根尾村>根尾村	29,583	548	1,185	556	629
大垣市	上石津町	<旧上石津町の一部>一之瀬村 時村 多良村	10,317	1,265	3,325	1,583	1,742
関ヶ原町	-	<旧関ヶ原町の一部>今須村	2,498	414	1,086	503	583
揖斐川町	谷汲村	<旧谷汲村>谷汲村 長瀬村 横蔵村	7,285	937	2,695	1,280	1,415
	春日村	<旧春日村>春日村	11,244	486	1,036	493	543
	久瀬村	<旧久瀬村>久瀬村	9,433	306	709	322	387
	坂内村	<旧坂内村>坂内村	15,326	154	285	126	159
関市	洞戸村	<旧洞戸村>洞戸村	4,008	634	1,783	837	946
	板取村	<旧板取村>板取村	18,735	444	916	440	476
	武儀町	<旧武儀町>下之保村 中之保村 富之保村 富野町	6,527	1,064	2,840	1,352	1,488
郡上市	上之保村	<旧上之保村>上之保村	4,932	567	1,351	672	679
	八幡町	<旧八幡町の一部>相生村 川合村 口明方村 西川村 西和良村	24,036	3,586	9,195	4,521	4,674
	大和町	<旧大和町>山田村 弥富村 西川村	15,248	2,148	6,096	2,988	3,108
	白鳥町	<旧白鳥町の一部>牛道村 北濃村 石徹白村	17,395	1,500	4,156	2,039	2,117
	高鷲村	<旧高鷲村>高鷲村	10,371	1,076	2,866	1,398	1,468
	美並村	<旧美並村>下川村 嵩田村	7,981	1,281	4,090	2,004	2,086
	明宝村	<旧明宝村>奥明方村	15,486	520	1,446	724	722
	和良村	<旧和良村>和良村	10,019	656	1,536	755	781
七宗町	-	<旧七宗町の一部>上麻生村 神淵村 久田見村	8,799	1,158	2,994	1,415	1,579
八百津町	-	<旧八百津町の一部>福地村 潮南村 久田見村	8,214	702	1,755	856	899
白川町	-	<旧白川町>坂ノ東村 蘇原村 佐見村 黒川村 西白川村	23,789	2,872	7,412	3,485	3,927
東白川村	-	<旧東白川村>東白川村	8,711	704	2,016	964	1,052
中津川市	中津川市	<旧中津川市の一部>阿木村 神坂村	11,800	939	2,760	1,329	1,431
	川上村	<旧川上村>川上村	2,977	274	719	359	360
	加子母村	<旧加子母村>加子母村	11,416	904	2,498	1,218	1,280
	付知町	<旧付知町>付知町	7,336	1,758	5,332	2,564	2,768
	福岡町	<旧福岡町>福岡村	8,429	2,155	6,197	2,952	3,245
	蛭川村	<旧蛭川村>蛭川村	4,482	1,004	3,078	1,475	1,603
	山口村	<長野県・旧山口村>山口村	2,467	576	1,544	746	798
	恵那市	<旧恵那市の一部>笠置村 飯地村 中野方村	6,845	1,087	3,126	1,504	1,622
恵那市	明智町	<旧明智町の一部>静波村 吉田村 三濃村	5,655	697	1,934	945	989
	串原村	<旧串原村>串原村	3,822	281	696	337	359
	上矢作町	<旧上矢作町>上村 下原田村	13,096	648	1,648	774	874
	高山市	<旧丹生川村>丹生川村	22,715	1,401	3,983	1,972	2,011
高山市	清見村	<旧清見村>清見村	35,916	842	2,166	1,085	1,081
	荘川村	<旧荘川村>荘川村	32,328	401	1,010	497	513
	宮村	<旧宮村>宮村	5,189	839	2,355	1,120	1,235
	久々野町	<旧久々野町>久々野村	10,610	1,185	3,184	1,497	1,687
	朝日村	<旧朝日村>朝日村	18,737	585	1,435	694	741
	高根村	<旧高根村>高根村	22,066	169	281	148	133
	国府町	<旧国府町>国府村	8,905	2,633	7,537	3,641	3,896
	上宝村	<旧上宝村>上宝村	47,512	1,212	2,829	1,375	1,454
飛騨市	古川町	<旧古川町の一部>小鷹利村 細江村	8,883	1,521	4,807	2,261	2,546
	河合村	<旧河合村>河合村	18,457	281	848	413	435
	宮川村	<旧宮川村>坂上村 坂下村	19,994	214	559	264	295
	神岡町	<旧神岡町の一部>阿曾布村 袖川村	19,913	1,890	4,720	2,290	2,430
下呂市	萩原町	<旧萩原町の一部>川西村 山之口村	9,938	1,309	4,124	1,927	2,197
	小坂町	<旧小坂町>小坂町	24,750	1,073	2,789	1,355	1,434
	下呂町	<旧下呂町の一部>竹原村 上原村 中原村	14,773	1,636	4,933	2,353	2,580
	金山町	<旧金山町の一部>菅田町 下原村 東村 西白川村	15,458	1,437	3,544	1,679	1,865
	馬瀬村	<旧馬瀬村>馬瀬村	9,846	375	1,051	504	547
	( 合 計 )			712,232	53,898	146,576	70,497

■ 山村振興地域の面積、人口の状況

(令和2年度)

市町村名	振興山村名 (旧市町村名)	人口					
		0～14歳	15～29歳	30～44歳	45～64歳	65～歳	
山県市	伊自良村	<旧伊自良村の一部>上伊自良村	106	155	158	351	592
	美山町	<旧美山町の一部>北山村 葛原村 乾村	81	129	134	372	722
本巢市	本巢町	<旧本巢町の一部>外山村	108	113	147	284	664
	根尾村	<旧根尾村>根尾村	77	69	90	305	644
大垣市	上石津町	<旧上石津町の一部>一之瀬村 時村 多良村	306	375	412	862	1,370
関ヶ原町	-	<旧関ヶ原町の一部>今須村	105	126	135	269	451
揖斐川町	谷汲村	<旧谷汲村>谷汲村 長瀬村 横蔵村	259	262	351	713	1,103
	春日村	<旧春日村>春日村	52	93	79	266	546
	久瀬村	<旧久瀬村>久瀬村	44	52	59	174	380
	坂内村	<旧坂内村>坂内村	10	5	19	61	190
関市	洞戸村	<旧洞戸村>洞戸村	168	158	198	448	811
	板取村	<旧板取村>板取村	46	37	73	235	525
	武儀町	<旧武儀町>下之保村 中之保村 富之保村 富野町	226	205	322	722	1,365
郡上市	上之保村	<旧上之保村>上之保村	90	73	120	364	704
	八幡町	<旧八幡町の一部>相生村 川合村 口明方村 西川村 西和良村	1,136	849	1,397	2,435	3,368
	大和町	<旧大和町>山田村 弥富村 西川村	800	609	985	1,635	2,064
	白鳥町	<旧白鳥町の一部>牛道村 北濃村 石徹白村	504	371	578	1,164	1,538
	高鷲村	<旧高鷲村>高鷲村	381	295	442	793	951
	美並村	<旧美並村>下川村 嵩田村	481	349	544	1,056	1,659
	明宝村	<旧明宝村>奥明方村	146	129	169	414	588
	和良村	<旧和良村>和良村	124	98	171	396	747
七宗町	-	<旧七宗町の一部>上麻生村 神淵村 久田見村	242	275	305	787	1,385
八百津町	-	<旧八百津町の一部>福地村 潮南村 久田見村	115	106	185	439	910
白川町	-	<旧白川町>坂ノ東村 蘇原村 佐見村 黒川村 西白川村	586	567	774	2,014	3,471
東白川村	-	<旧東白川村>東白川村	185	145	234	542	910
中津川市	中津川市	<旧中津川市の一部>阿木村 神坂村	283	233	381	664	1,199
	川上村	<旧川上村>川上村	87	71	107	205	249
	加子母村	<旧加子母村>加子母村	226	229	284	697	1,062
	付知町	<旧付知町>付知町	604	500	773	1,424	2,031
	福岡町	<旧福岡町>福岡村	742	651	950	1,637	2,217
	蛭川村	<旧蛭川村>蛭川村	393	317	430	793	1,145
	山口村	<長野県・旧山口村>山口村	171	147	219	413	594
	恵那市	<旧恵那市の一部>笠置村 飯地村 中野方村	327	298	371	778	1,352
恵那市	明智町	<旧明智町の一部>静波村 吉田村 三濃村	169	164	208	502	891
	串原村	<旧串原村>串原村	72	48	79	153	344
	上矢作町	<旧上矢作町>上村 下原田村	126	107	159	407	849
	高山市	<旧丹生川村>丹生川村	527	424	602	1,065	1,365
高山市	清見村	<旧清見村>清見村	244	209	272	648	793
	荘川村	<旧荘川村>荘川村	97	74	112	288	433
	宮村	<旧宮村>宮村	319	217	377	631	811
	久々野町	<旧久々野町>久々野村	404	291	447	791	1,251
	朝日村	<旧朝日村>朝日村	131	114	156	428	606
	高根村	<旧高根村>高根村	9	13	25	57	177
	国府町	<旧国府町>国府村	966	736	1,128	1,969	2,738
	上宝村	<旧上宝村>上宝村	250	310	372	758	1,139
	飛騨市	古川町	<旧古川町の一部>小鷹利村 細江村	635	431	776	1,220
河合村		<旧河合村>河合村	87	68	99	223	371
宮川村		<旧宮川村>坂上村 坂下村	26	53	58	164	258
神岡町		<旧神岡町の一部>阿曾布村 袖川村	499	358	643	1,276	1,941
下呂市	萩原町	<旧萩原町の一部>川西村 山之口村	462	314	523	1,087	1,738
	小坂町	<旧小坂町>小坂町	258	192	317	721	1,301
	下呂町	<旧下呂町の一部>竹原村 上原村 中原村	551	422	620	1,267	2,073
	金山町	<旧金山町の一部>菅田町 下原村 東村 西白川村	348	229	403	937	1,627
	馬瀬村	<旧馬瀬村>馬瀬村	101	64	131	289	466
	( 合 計 )		15,492	12,929	19,103	38,593	60,420

※年齢については、国勢調査未回答（不詳）を除いているため、合計と一致しない場合がある。

【出典】各市町村あて振興山村基礎調査

■ 山村振興地域の耕地面積及び農家数等の状況

市町村名	旧町村名	振興山村名 (旧市町村名)	耕地面積 (ha)				
			田	畑	樹園地	牧草地	
山県市	伊自良村	<旧伊自良村の一部>上伊自良村	38	24	10	5	0
	美山町	<旧美山町の一部>北山村 葛原村 乾村	10	2	8	0	7
本巣市	本巣町	<旧本巣町の一部>外山村	59	46	5	8	0
	根尾村	<旧根尾村>根尾村	55	49	5	1	0
大垣市	上石津町	<旧上石津町の一部>一之瀬村 時村 多良村	173	163	8	2	0
関ヶ原町	—	<旧関ヶ原町の一部>今須村	50	43	2	4	0
揖斐川町	谷汲村	<旧谷汲村>谷汲村 長瀬村 横蔵村	253	235	14	4	0
	春日村	<旧春日村>春日村	9	4	3	3	0
	久瀬村	<旧久瀬村>久瀬村	21	19	1	1	0
	坂内村	<旧坂内村>坂内村	29	26	3	0	0
関市	洞戸村	<旧洞戸村>洞戸村	47	23	21	3	6
	板取村	<旧板取村>板取村	6	3	2	1	0
	武儀町	<旧武儀町>下之保村 中之保村 富之保村 富野町	63	51	10	1	0
	上之保村	<旧上之保村>上之保村	30	23	3	4	0
郡上市	八幡町	<旧八幡町の一部>相生村 川合村 口明方村 西川村 西和良村	190	158	23	7	3
	大和町	<旧大和町>山田村 弥富村 西川村	176	154	18	5	4
	白鳥町	<旧白鳥町の一部>牛道村 北濃村 石徹白村	226	201	22	2	0
	高鷲村	<旧高鷲村>高鷲村	331	50	279	1	149
	美並村	<旧美並村>下川村 嵩田村	112	100	8	2	0
	明宝村	<旧明宝村>奥明方村	184	62	119	3	4
	和良村	<旧和良村>和良村	107	102	5	0	1
七宗町	—	<旧七宗町の一部>上麻生村 神瀬村 久田見村	45	37	7	1	0
八百津町	—	<旧八百津町の一部>福地村 瀬南村 久田見村	45	39	4	5	0
白川町	—	<旧白川町>坂ノ東村 蘇原村 佐見村 黒川村 西白川村	338	211	42	84	0
東白川村	—	<旧東白川村>東白川村	132	67	15	51	1
中津川市	中津川市	<旧中津川市の一部>阿木村 神坂村	303	274	24	5	7
	川上村	<旧川上村>川上村	38	37	1	1	0
	加子母村	<旧加子母村>加子母村	122	71	46	5	3
	付知町	<旧付知町>付知町	59	45	12	2	2
	福岡町	<旧福岡町>福岡村	313	272	35	7	5
	蛭川村	<旧蛭川村>蛭川村	166	140	23	2	6
	山口村	<長野県・旧山口村>山口村	41	30	10	2	1
	恵那市	<旧恵那市の一部>笠置村 飯地村 中野方村	197	145	26	27	3
明智町	明智町	<旧明智町の一部>静波村 吉田村 三濃村	123	102	18	1	0
	串原村	<旧串原村>串原村	24	17	6	1	0
	上矢作町	<旧上矢作町>上村 下原田村	76	60	10	6	0
	高山市	<旧丹生川村>丹生川村	549	364	185	1	9
高山市	清見村	<旧清見村>清見村	281	137	143	2	85
	荘川村	<旧荘川村>荘川村	101	69	31	0	13
	宮村	<旧宮村>宮村	59	42	16	0	2
	久々野町	<旧久々野町>久々野村	176	68	55	52	14
	朝日村	<旧朝日村>朝日村	136	65	71	0	46
	高根村	<旧高根村>高根村	20	1	20	0	2
	国府町	<旧国府町>国府村	457	373	52	32	6
	上宝村	<旧上宝村>上宝村	144	117	21	6	1
飛騨市	古川町	<旧古川町の一部>小鷹利村 細江村	336	259	63	15	15
	河合村	<旧河合村>河合村	58	24	34	0	27
	宮川村	<旧宮川村>坂上村 坂下村	35	30	5	0	0
	神岡町	<旧神岡町の一部>阿曾布村 袖川村	109	83	26	0	4
下呂市	萩原町	<旧萩原町の一部>川西村 山之口村	96	71	24	1	13
	小坂町	<旧小坂町>小坂町	32	21	11	0	3
	下呂町	<旧下呂町の一部>竹原村 上原村 中原村	100	71	26	2	5
	金山町	<旧金山町の一部>菅田町 下原村 東村 西白川村	98	86	8	4	0
	馬瀬村	<旧馬瀬村>馬瀬村	44	34	9	0	5
( 合 計 )			7,022	5,000	1,648	372	452

■ 山村振興地域の耕地面積及び農家数等の状況

(令和2年度)

市町村名	旧町村名 (旧市町村名)	振興山村名	総農家数			うち、個人経営体			
			販売農家	自給的農家		主業	準主業	副業的	
山県市	伊自良村	<旧伊自良村の一部>上伊自良村	125	48	77	49	5	0	44
	美山町	<旧美山町の一部>北山村 葛原村 乾村	75	8	67	7	3	0	4
本巣市	本巣町	<旧本巣町の一部>外山村	142	74	68	77	3	7	67
	根尾村	<旧根尾村>根尾村	160	67	93	69	1	7	61
大垣市	上石津町	<旧上石津町の一部>一之瀬村 時村 多良村	262	126	136	126	4	17	105
関ヶ原町	—	<旧関ヶ原町の一部>今須村	122	40	82	40	1	4	35
揖斐川町	谷汲村	<旧谷汲村>谷汲村 長瀬村 横蔵村	204	108	96	109	5	12	92
	春日村	<旧春日村>春日村	113	19	94	19	0	2	17
	久瀬村	<旧久瀬村>久瀬村	110	26	84	27	0	1	26
	坂内村	<旧坂内村>坂内村	55	23	32	22	3	1	18
関市	洞戸村	<旧洞戸村>洞戸村	95	23	72	26	2	1	23
	板取村	<旧板取村>板取村	71	12	59	12	0	1	11
	武儀町	<旧武儀町>下之保村 中之保村 富之保村 富野町	284	57	227	58	1	6	51
	上之保村	<旧上之保村>上之保村	175	28	147	30	2	4	24
郡上市	八幡町	<旧八幡町の一部>相生村 川合村 口明方村 西川村 西和良村	586	202	384	197	10	14	173
	大和町	<旧大和町>山田村 弥富村 西川村	680	253	427	255	14	27	214
	白鳥町	<旧白鳥町の一部>牛道村 北濃村 石徹白村	610	258	352	258	13	32	213
	高鷲村	<旧高鷲村>高鷲村	313	120	193	119	33	3	83
	美並村	<旧美並村>下川村 嵩田村	282	105	177	105	2	4	99
	明宝村	<旧明宝村>奥明方村	208	85	123	84	6	10	68
	和良村	<旧和良村>和良村	228	84	144	84	3	6	75
	七宗町	—	<旧七宗町の一部>上麻生村 神瀬村 久田見村	331	91	240	77	2	4
八百津町	—	<旧八百津町の一部>福地村 瀬南村 久田見村	215	62	153	62	3	6	53
白川町	—	<旧白川町>坂ノ東村 蘇原村 佐見村 黒川村 西白川村	945	301	644	303	30	37	236
東白川村	—	<旧東白川村>東白川村	286	137	149	136	13	11	112
中津川市	中津川市	<旧中津川市の一部>阿木村 神坂村	514	290	224	290	10	41	239
	川上村	<旧川上村>川上村	48	11	37	11	1	2	8
	加子母村	<旧加子母村>加子母村	379	171	208	168	29	14	125
	付知町	<旧付知町>付知町	425	117	308	116	8	17	91
	福岡町	<旧福岡町>福岡村	530	216	314	216	20	31	165
	蛭川村	<旧蛭川村>蛭川村	375	183	192	184	6	27	151
	山口村	<長野県・旧山口村>山口村	143	67	76	67	4	9	54
	恵那市	<旧恵那市の一部>笠置村 飯地村 中野方村	521	235	286	235	6	23	206
明智町	明智町	<旧明智町の一部>静波村 吉田村 三濃村	303	155	148	155	4	13	138
	串原村	<旧串原村>串原村	147	42	105	42	3	2	37
	上矢作町	<旧上矢作町>上村 下原田村	266	89	177	89	8	8	73
	高山市	<旧丹生川村>丹生川村	564	410	154	411	126	66	219
高山市	清見村	<旧清見村>清見村	240	129	111	118	23	12	83
	荘川村	<旧荘川村>荘川村	82	32	50	33	6	3	24
	宮村	<旧宮村>宮村	132	48	84	48	9	7	32
	久々野町	<旧久々野町>久々野村	340	162	178	164	48	12	104
	朝日村	<旧朝日村>朝日村	188	94	94	92	25	9	58
	高根村	<旧高根村>高根村	53	24	29	25	7	3	15
	国府町	<旧国府町>国府村	565	313	252	312	46	39	227
	上宝村	<旧上宝村>上宝村	312	75	237	75	8	10	57
飛騨市	古川町	<旧古川町の一部>小鷹利村 細江村	473	192	281	192	23	17	152
	河合村	<旧河合村>河合村	123	43	80	41	8	1	32
	宮川村	<旧宮川村>坂上村 坂下村	107	36	71	34	3	9	22
	神岡町	<旧神岡町の一部>阿曾布村 袖川村	306	109	197	108	17	19	72
下呂市	萩原町	<旧萩原町の一部>川西村 山之口村	328	123	205	122	11	9	102
	小坂町	<旧小坂町>小坂町	151	44	107	43	10	2	31
	下呂町	<旧下呂町の一部>竹原村 上原村 中原村	412	92	320	93	20	13	60
	金山町	<旧金山町の一部>菅田町 下原村 東村 西白川村	354	88	266	87	5	7	75
	馬瀬村	<旧馬瀬村>馬瀬村	160	57	103	58	6	8	44
( 合 計 )			15,218	6,004	9,214	5,980	659	650	4,671

※耕地面積については、四捨五入の関係により合計と内訳が一致しない場合がある。

※耕地面積のうち、牧草地については、畑の内数。

【出典】 農林業センサス

■ 土地の利用状況（令和2年）

	土地の利用状況 (ha)								計
	農地			林野		その他	計		
	田	畑	果樹地	国有林	民有林				
岐阜市	2,333	1,830	354	150	6,041	220	5,820	11,986	20,360
大垣市	2,124	2,040	65	19	10,876	0	10,876	7,657	20,657
高山市	2,969	1,812	1,026	131	200,423	80,668	119,756	14,369	217,761
多治見市	49	37	10	2	4,424	208	4,216	4,652	9,125
関市	1,474	1,276	183	16	38,218	364	37,855	7,541	47,233
中津川市	1,752	1,372	279	101	53,997	16,331	37,666	11,896	67,645
美濃市	136	86	44	5	9,345	322	9,022	2,220	11,701
瑞浪市	301	250	45	5	12,176	241	11,935	5,009	17,486
羽島市	855	749	88	17	0	0	0	4,511	5,366
恵那市	1,667	1,355	222	90	38,948	4,794	34,154	9,809	50,424
美濃加茂市	556	374	97	85	2,946	0	2,946	3,979	7,481
土岐市	58	49	8	0	7,519	0	7,519	4,025	11,602
各務原市	539	317	202	20	1,746	43	1,702	6,496	8,781
可児市	358	286	60	12	3,330	0	3,330	5,069	8,757
山県市	447	364	66	16	18,628	655	17,973	3,123	22,198
瑞穂市	485	359	53	73	0	0	0	2,334	2,819
飛騨市	699	513	169	16	74,286	17,483	56,803	4,268	79,253
本巣市	1,232	860	102	270	32,293	4,735	27,558	3,940	37,465
郡上市	1,434	930	483	22	92,837	2,266	90,570	8,804	103,075
下呂市	416	320	89	8	78,380	22,846	55,534	6,325	85,121
海津市	2,543	2,321	107	115	3,031	0	3,030	5,629	11,203
岐南町	98	72	24	1	0	0	0	693	791
笠松町	74	53	20	1	0	0	0	956	1,030
養老町	1,991	1,893	91	7	1,832	15	1,816	3,406	7,229
垂井町	776	755	15	6	3,282	0	3,282	1,651	5,709
関ヶ原町	139	125	6	7	3,802	0	3,802	988	4,928
神戸町	587	510	70	7	0	0	0	1,290	1,877
輪之内町	894	860	33	1	0	0	0	1,339	2,233
安八町	479	432	44	3	0	0	0	1,337	1,816
揖斐川町	1,082	923	95	63	73,441	5,566	67,875	5,820	80,343
大野町	878	670	66	142	553	0	553	1,989	3,420
池田町	901	798	50	53	1,558	0	1,558	1,420	3,879
北方町	54	45	4	5	0	0	0	464	518
坂祝町	104	57	45	3	465	0	465	718	1,287
富加町	184	147	33	5	644	0	644	854	1,682
川辺町	106	76	26	3	2,859	0	2,859	1,151	4,116
七宗町	63	51	10	2	8,265	1,508	6,757	719	9,047
八百津町	153	109	32	12	10,349	118	10,231	2,377	12,879
白川町	338	211	42	85	20,969	0	20,969	2,483	23,790
東白川村	132	67	15	51	7,781	404	7,377	796	8,709
御嵩町	244	229	15	0	3,343	51	3,292	2,082	5,669
白川村	63	57	5	0	33,959	18,797	15,162	1,642	35,664
(合計)	31,767	25,640	4,493	1,630	862,546	177,635	684,907	167,817	1,062,130
振興山村市町村	16,121	12,328	2,884	909	763,493	157,738	605,756	90,915	870,528
うち、市	14,214	10,842	2,684	689	638,886	150,142	488,745	77,732	730,832
うち、町村	1,907	1,486	200	220	124,607	7,596	117,011	13,183	139,696

■ 土地の利用状況（令和2年）

（着色のセルは振興山村市町村）

	構成割合（％）							計
	農地			林野			その他	
	田	畑	果樹地	国有林	民有林			
岐阜市	8.988	1.739	0.737	29.671	1.081	28.585	58.870	100.000
大垣市	9.876	0.315	0.092	52.650	0.000	52.650	37.067	100.000
高山市	0.832	0.471	0.060	92.038	37.044	54.994	6.599	100.000
多治見市	0.405	0.110	0.022	48.482	2.279	46.203	50.981	100.000
関市	2.702	0.387	0.034	80.914	0.771	80.145	15.966	100.000
中津川市	2.028	0.412	0.149	79.824	24.142	55.682	17.586	100.000
美濃市	0.735	0.376	0.043	79.865	2.752	77.105	18.973	100.000
瑞浪市	1.430	0.257	0.029	69.633	1.378	68.255	28.646	100.000
羽島市	13.958	1.640	0.317	0.000	0.000	0.000	84.066	100.000
恵那市	2.687	0.440	0.178	77.241	9.507	67.734	19.453	100.000
美濃加茂市	4.999	1.297	1.136	39.380	0.000	39.380	53.188	100.000
土岐市	0.422	0.069	0.000	64.808	0.000	64.808	34.692	100.000
各務原市	3.610	2.300	0.228	19.884	0.490	19.383	73.978	100.000
可児市	3.266	0.685	0.137	38.027	0.000	38.027	57.885	100.000
山県市	1.640	0.297	0.072	83.917	2.951	80.967	14.069	100.000
瑞穂市	12.735	1.880	2.590	0.000	0.000	0.000	82.795	100.000
飛騨市	0.647	0.213	0.020	93.733	22.060	71.673	5.385	100.000
本巣市	2.295	0.272	0.721	86.195	12.638	73.557	10.516	100.000
郡上市	0.902	0.469	0.021	90.067	2.198	87.868	8.541	100.000
下呂市	0.376	0.105	0.009	92.081	26.839	65.241	7.431	100.000
海津市	20.718	0.955	1.027	27.055	0.000	27.046	50.245	100.000
岐南町	9.102	3.034	0.126	0.000	0.000	0.000	87.611	100.000
笠松町	5.146	1.942	0.097	0.000	0.000	0.000	92.816	100.000
養老町	26.186	1.259	0.097	25.342	0.207	25.121	47.116	100.000
垂井町	13.225	0.263	0.105	57.488	0.000	57.488	28.919	100.000
関ヶ原町	2.537	0.122	0.142	77.151	0.000	77.151	20.049	100.000
神戸町	27.171	3.729	0.373	0.000	0.000	0.000	68.727	100.000
輪之内町	38.513	1.478	0.045	0.000	0.000	0.000	59.964	100.000
安八町	23.789	2.423	0.165	0.000	0.000	0.000	73.623	100.000
揖斐川町	1.149	0.118	0.078	91.409	6.928	84.482	7.244	100.000
大野町	19.591	1.930	4.152	16.170	0.000	16.170	58.158	100.000
池田町	20.572	1.289	1.366	40.165	0.000	40.165	36.607	100.000
北方町	8.687	0.772	0.965	0.000	0.000	0.000	89.575	100.000
坂祝町	4.429	3.497	0.233	36.131	0.000	36.131	55.789	100.000
富加町	8.740	1.962	0.297	38.288	0.000	38.288	50.773	100.000
川辺町	1.846	0.632	0.073	69.461	0.000	69.461	27.964	100.000
七宗町	0.564	0.111	0.022	91.356	16.669	74.688	7.947	100.000
八百津町	0.846	0.248	0.093	80.356	0.916	79.439	18.456	100.000
白川町	0.887	0.177	0.357	88.142	0.000	88.142	10.437	100.000
東白川村	0.769	0.172	0.586	89.344	4.639	84.705	9.140	100.000
御嵩町	4.040	0.265	0.000	58.970	0.900	58.070	36.726	100.000
白川村	0.160	0.014	0.000	95.219	52.706	42.513	4.604	100.000
（合計）	2.414	0.423	0.153	81.209	16.724	64.484	15.800	100.000
振興山村市町村	1.416	0.331	0.104	87.705	18.120	69.585	10.444	100.000
うち、市	1.484	0.367	0.094	87.419	20.544	66.875	10.636	100.000
うち、町村	1.064	0.143	0.157	89.199	5.438	83.761	9.437	100.000

【出典】 岐阜県森林・林業統計書

■ 就業者の状況（令和2年）

	就業者数（人）							
	計	1次			2次	3次	分類不能	計
		農業	林業	漁業				
岐阜市	3,091	2,963	102	26	47,867	150,574	0	201,532
大垣市	1,084	1,040	24	20	27,506	52,936	0	81,526
高山市	4,992	4,713	272	7	10,678	31,940	0	47,610
多治見市	335	307	28	0	16,892	38,403	0	55,630
関市	881	773	93	15	19,516	25,064	0	45,461
中津川市	1,960	1,759	198	3	16,871	21,974	0	40,805
美濃市	231	202	26	3	4,878	5,225	0	10,334
瑞浪市	451	431	15	5	6,505	12,736	0	19,692
羽島市	705	697	5	3	11,181	23,915	0	35,801
恵那市	1,207	1,130	76	1	9,089	14,850	0	25,146
美濃加茂市	747	714	33	0	11,750	16,626	0	29,123
土岐市	237	228	9	0	11,156	18,102	0	29,495
各務原市	976	957	18	1	25,073	48,404	0	74,453
可児市	623	596	27	0	19,531	31,475	0	51,629
山県市	426	390	32	4	5,259	7,519	0	13,204
瑞穂市	650	631	9	10	9,015	20,211	0	29,876
飛騨市	996	879	89	28	3,975	6,899	0	11,870
本巣市	1,171	1,122	45	4	5,348	10,665	0	17,184
郡上市	1,303	1,019	266	18	7,016	12,352	0	20,671
下呂市	835	651	159	25	4,632	10,501	0	15,968
海津市	1,197	1,185	8	4	6,487	10,410	0	18,094
岐南町	200	197	3	0	4,305	9,784	0	14,289
笠松町	102	100	2	0	3,256	8,019	0	11,377
養老町	456	452	3	1	5,114	8,192	0	13,762
垂井町	304	302	2	0	5,595	7,398	0	13,297
関ヶ原町	138	131	7	0	1,282	1,879	0	3,299
神戸町	432	428	3	1	3,614	5,457	0	9,503
輪之内町	195	194	0	1	2,236	3,043	0	5,474
安八町	195	195	0	0	2,711	4,559	0	7,465
揖斐川町	543	493	48	2	3,472	5,848	0	9,863
大野町	673	658	15	0	3,964	7,002	0	11,639
池田町	422	390	22	10	4,819	7,037	0	12,278
北方町	131	125	6	0	2,796	6,893	0	9,820
坂祝町	129	126	3	0	1,875	2,432	0	4,436
富加町	153	145	8	0	1,325	1,585	0	3,063
川辺町	91	76	15	0	2,150	3,031	0	5,272
七宗町	114	98	16	0	680	897	0	1,691
八百津町	146	120	25	1	2,150	2,834	0	5,130
白川町	343	289	49	5	1,611	1,875	0	3,829
東白川村	172	114	57	1	430	508	0	1,110
御嵩町	189	182	7	0	3,802	5,296	0	9,287
白川村	25	21	4	0	216	699	0	940
（合計）	29,251	27,223	1,829	199	337,628	665,049	0	1,031,928
振興山村市町村	16,311	14,721	1,456	134	119,515	208,541	0	344,367
うち、市	14,855	13,476	1,254	125	109,890	194,700	0	319,445
うち、町村	1,456	1,245	202	9	9,625	13,841	0	24,922

■ 就業者の状況（令和2年）

（着色のセルは振興山村市町村）

	構成割合（％）			
	1次	2次	3次	計
岐阜市	1.53	23.75	74.71	100.000
大垣市	1.33	33.74	64.93	100.000
高山市	10.49	22.43	67.09	100.000
多治見市	0.60	30.36	69.03	100.000
関市	1.94	42.93	55.13	100.000
中津川市	4.80	41.35	53.85	100.000
美濃市	2.24	47.20	50.56	100.000
瑞浪市	2.29	33.03	64.68	100.000
羽島市	1.97	31.23	66.80	100.000
恵那市	4.80	36.14	59.06	100.000
美濃加茂市	2.56	40.35	57.09	100.000
土岐市	0.80	37.82	61.37	100.000
各務原市	1.31	33.68	65.01	100.000
可児市	1.21	37.83	60.96	100.000
山県市	3.23	39.83	56.94	100.000
瑞穂市	2.18	30.17	67.65	100.000
飛騨市	8.39	33.49	58.12	100.000
本巣市	6.81	31.12	62.06	100.000
郡上市	6.30	33.94	59.76	100.000
下呂市	5.23	29.01	65.76	100.000
海津市	6.62	35.85	57.53	100.000
岐南町	1.40	30.13	68.47	100.000
笠松町	0.90	28.62	70.48	100.000
養老町	3.31	37.16	59.53	100.000
垂井町	2.29	42.08	55.64	100.000
関ヶ原町	4.18	38.86	56.96	100.000
神戸町	4.55	38.03	57.42	100.000
輪之内町	3.56	40.85	55.59	100.000
安八町	2.61	36.32	61.07	100.000
揖斐川町	5.51	35.20	59.29	100.000
大野町	5.78	34.06	60.16	100.000
池田町	3.44	39.25	57.31	100.000
北方町	1.33	28.47	70.19	100.000
坂祝町	2.91	42.27	54.82	100.000
富加町	5.00	43.26	51.75	100.000
川辺町	1.73	40.78	57.49	100.000
七宗町	6.74	40.21	53.05	100.000
八百津町	2.85	41.91	55.24	100.000
白川町	8.96	42.07	48.97	100.000
東白川村	15.50	38.74	45.77	100.000
御嵩町	2.04	40.94	57.03	100.000
白川村	2.66	22.98	74.36	100.000
（合計）	2.83	32.72	64.45	100.000
振興山村市町村	4.74	34.71	60.56	100.000
うち、市	4.65	34.40	60.95	100.000
うち、町村	5.84	38.62	55.54	100.000

【出典】岐阜県森林・林業統計書

■ 財政力指数（令和2年度決算）

	財政力指数	標準財政規模	収支		
			歳入	歳出	差引
岐阜市	0.870	85,402,941	250,156,230	241,894,694	8,261,536
大垣市	0.880	36,173,659	79,960,576	77,446,374	2,514,202
高山市	0.530	27,486,187	63,753,062	60,702,970	3,050,092
多治見市	0.730	23,570,028	56,395,515	51,500,856	4,894,659
関市	0.630	23,746,864	55,811,030	50,852,353	4,958,677
中津川市	0.500	24,353,893	52,869,416	47,681,807	5,187,609
美濃市	0.560	5,993,622	13,757,841	12,914,959	842,882
瑞浪市	0.640	9,598,194	22,068,431	21,251,675	816,756
羽島市	0.780	13,784,755	31,519,074	30,781,507	737,567
恵那市	0.460	17,594,584	35,421,787	33,691,617	1,730,170
美濃加茂市	0.820	12,328,512	30,729,662	29,226,812	1,502,850
土岐市	0.690	13,423,978	29,832,289	28,820,913	1,011,376
各務原市	0.900	28,465,990	75,376,007	71,301,341	4,074,666
可児市	0.890	19,821,940	47,436,865	45,390,341	2,046,524
山県市	0.400	8,777,092	18,032,294	17,828,057	204,237
瑞穂市	0.790	11,401,481	25,861,859	24,713,259	1,148,600
飛騨市	0.320	10,970,871	25,150,833	23,740,916	1,409,917
本巣市	0.580	11,010,426	21,949,063	21,090,508	858,555
郡上市	0.320	18,008,234	33,949,452	32,548,776	1,400,676
下呂市	0.340	13,983,669	28,935,562	27,134,257	1,801,305
海津市	0.490	10,280,662	20,559,505	19,565,608	993,897
岐南町	0.950	5,308,001	12,105,755	11,604,008	501,747
笠松町	0.720	4,795,482	9,917,471	9,416,288	501,183
養老町	0.630	6,953,021	16,597,610	15,856,786	740,824
垂井町	0.730	6,325,056	12,879,782	12,294,120	585,662
関ヶ原町	0.520	2,888,783	5,045,422	4,780,884	264,538
神戸町	0.710	4,771,501	9,057,750	8,580,858	476,892
輪之内町	0.630	3,091,084	5,625,100	5,497,055	128,045
安八町	0.630	4,231,985	7,832,192	7,401,322	430,870
揖斐川町	0.470	9,414,748	17,381,064	16,720,316	660,748
大野町	0.630	5,048,836	11,128,729	10,774,397	354,332
池田町	0.630	5,722,314	12,335,481	11,837,417	498,064
北方町	0.620	4,418,573	11,881,687	11,423,114	458,573
坂祝町	0.600	2,364,254	4,457,645	4,248,101	209,544
富加町	0.490	2,089,725	3,935,759	3,701,789	233,970
川辺町	0.470	3,324,251	6,578,947	6,268,410	310,537
七宗町	0.290	2,089,227	3,816,138	3,708,530	107,608
八百津町	0.420	4,037,314	7,881,204	7,461,503	419,701
白川町	0.290	3,832,899	7,620,906	7,193,901	427,005
東白川村	0.160	1,602,810	3,373,388	3,024,915	348,473
御嵩町	0.650	4,723,203	13,500,125	13,103,616	396,509
白川村	0.360	1,731,886	5,348,482	5,203,416	145,066
県平均	0.589	12,260,537	28,757,785	27,385,246	1,372,539

振興山村市町村	0.444
うち、市	0.496
うち、町村	0.358

■ 財政力指数（令和2年度決算）

（着色のセルは振興山村市町村）

	収支				地方債現在高 a
	繰越財源	実質収支	単年度収支	実質単年度 収支	
岐阜市	588,152	7,673,384	1,103,458	▲ 494,659	144,787,903
大垣市	292,549	2,221,653	▲ 594,828	▲ 303,028	69,348,962
高山市	1,475,466	1,574,626	508,256	▲ 4,312,899	21,392,643
多治見市	1,102,693	3,791,966	698,092	▲ 1,142,759	33,482,088
関市	468,777	4,489,900	1,185,858	2,561,910	29,185,508
中津川市	641,476	4,546,133	332,385	▲ 1,445,650	34,268,919
美濃市	483,293	359,589	▲ 4,399	9,511	7,109,324
瑞浪市	298,700	518,056	14,549	896,616	13,666,032
羽島市	121,267	616,300	108,208	▲ 121,327	20,045,019
恵那市	279,283	1,450,887	393,960	1,919,408	26,179,252
美濃加茂市	225,944	1,276,906	▲ 400,830	108,304	14,597,205
土岐市	266,015	745,361	262,716	166,404	18,819,226
各務原市	363,783	3,710,883	639,649	▲ 476,332	25,325,734
可児市	532,222	1,514,302	▲ 116,348	347,895	23,050,866
山県市	90,825	113,412	▲ 38,667	▲ 38,128	12,844,515
瑞穂市	399,270	749,330	99,989	▲ 219,360	11,772,339
飛騨市	68,437	1,341,480	291,145	209,892	14,819,752
本巣市	97,890	760,665	▲ 118,125	▲ 200,725	17,196,523
郡上市	163,809	1,236,867	222,628	▲ 87,641	31,311,940
下呂市	556,071	1,245,234	622,637	▲ 428,932	21,003,412
海津市	68,781	925,116	332,148	333,096	17,267,429
岐南町	20,447	481,300	121,286	▲ 67,014	5,137,552
笠松町	80,505	420,678	81,868	▲ 4,902	6,774,592
養老町	15,659	725,165	329,906	330,215	11,195,188
垂井町	46,301	539,361	▲ 51,944	279,259	8,023,058
関ヶ原町	19,739	244,799	25,076	35,195	3,770,607
神戸町	7,367	469,525	40,431	205,876	5,168,079
輪之内町	3,332	124,713	▲ 10,545	▲ 8,045	3,314,923
安八町	39,959	390,911	▲ 19,639	60,704	6,182,539
揖斐川町	90,582	570,166	212,138	86,618	14,122,087
大野町	18,648	335,684	193,700	32,638	7,403,852
池田町	33,706	464,358	102,880	97,364	8,873,622
北方町	27,132	431,441	102,085	657,990	7,778,507
坂祝町	12,258	197,286	87,608	213,188	2,698,866
富加町	40,248	193,722	111,335	20,985	1,921,502
川辺町	20,624	289,913	68,627	77,399	3,973,150
七宗町	40,810	66,798	▲ 20,642	49,673	1,408,003
八百津町	74,958	344,743	40,443	50,654	3,225,744
白川町	89,312	337,693	106,269	6,269	4,467,555
東白川村	8,100	340,373	18,659	18,959	2,982,897
御嵩町	127,219	269,290	69,521	120,579	5,552,810
白川村	33,229	111,837	▲ 229,120	▲ 1,319,127	3,646,165
県平均	224,639	1,147,900	164,820	-42,236	17,264,188

【出典】決算統計資料

■ 1人あたり所得の状況（令和2年）

（着色のセルは振興山村市町村）

	市町村民 1人あたり所得
岐阜市	2,956
大垣市	3,097
高山市	2,749
多治見市	2,943
関市	2,949
中津川市	2,858
美濃市	2,985
瑞浪市	2,741
羽島市	2,831
恵那市	2,798
美濃加茂市	2,761
土岐市	2,851
各務原市	3,021
可児市	2,904
山県市	2,667
瑞穂市	2,818
飛騨市	2,762
本巣市	2,756
郡上市	2,601
下呂市	2,524
海津市	2,754
岐南町	3,211
笠松町	2,751
養老町	2,738
垂井町	2,827
関ヶ原町	2,822
神戸町	2,775
輪之内町	2,976
安八町	2,900
揖斐川町	2,680
大野町	2,663
池田町	2,814
北方町	2,844
坂祝町	2,849
富加町	2,977
川辺町	2,787
七宗町	2,337
八百津町	2,523
白川町	2,372
東白川村	2,440
御嵩町	2,871
白川村	3,081
県平均	2,799

振興山村市町村	2,683
うち、市	2,776
うち、町村	2,529

【出典】市町村民経済計算書